

特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター

2008 年度事業報告書

期間:2008 年 7 月 1 日～2009 年 6 月 30 日



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎ NPO センター

目次

I. 2008 年度事業の成果と総括	2
II. 事業報告	
アドボカシー	6
NPO マネジメントサポート	8
交流・ネットワーク	12
情報発信・情報サポート	13
市民公益活動支援施設運営	15
サポート資源提供システムとみんなみんファンド	22
せんだい CARES 2008	23
コミュニティ政策支援	24
企業のソーシャル化支援	25
市民協働のまちづくり	26
震災復興支援	32
東北ソーシャルビジネス推進協議会	33
組織改革(スタッフ研修)	34
JACEVO	35
III. 行政等による各種委員会、審議会への委員委嘱協力	37
IV. 講師派遣・研修受け入れ等	38
V. センター運営に関する事項	39
VI. 2008 年度収支報告	42
VII. 資料 新聞記事／河北新報夕刊 NPO 情報室	46

I. 2008 年度の成果と総括

はじめに 当センターの中期的な事業の「3 本柱+1」について

自民党の首相交代劇が起きるたびに、衆議院解散、政権交代といった言葉がささやかれながら、結局解散となったのは 2009 年 7 月 31 日となった。また、「感染列島」という映画が製作されたのが、2008 年。その翌年には豚インフルエンザ騒ぎが起きて、私たちの暮らしをグローバルにみる必要があることを実感させられた。さらに、アメリカ初の黒人大統領が誕生したことも、社会が変わり始めていることの象徴のようであった。何より大きかったのは、9 月に起きたリーマンブラザーズの倒産を端緒とする世界金融恐慌と、その日本企業への多大なる影響だった。その結果、企業は契約社員・派遣社員を解雇することで企業の生き残りを選択する道を選び、それを支える動きとして、これまで社会的弱者の権利擁護と救済の活動を続けてきた NPO の活躍が目されることになった。これも、この 1 年を振り返る上で見逃すことのできない出来事である。

昨年度、当センターでは、中期的な事業の柱として、以下の 4 つをあげていた。

1. 市民公益活動支援

社会変革・地域課題解決の可能性に満ち、多くの人々の参画にひらかれている活動で、積極的な情報開示に努める、意欲的な市民とその組織の成長を支援し、地域課題の解決とわが国における市民社会の形成に寄与する。

2. 自治体の改革支援

市民参画・協働型の自治体経営をめざし、住民自治と市民活動推進の基盤整備を進める改革志向の自治体を支援し、NPO と自治体の協働を進めることで、住民自治を推進し、よりよい地域経営を実現する。

3. 企業のソーシャル化支援(地域 CSR 推進)

持続可能な経営を通して、よりよい商品やサービスを創造・提供することで社会に貢献し、求められる社会的責任を積極的に果たそうとする企業の成長を支援し、企業と NPO との協働によってよりよい地域社会づくりの担い手を増やす。

4. せんだい・みやぎ NPO センターの継続的な組織改革

事業の成果やサービスの質の向上だけでなく、組織が長期にわたって社会の求める価値を創出し創造力を発揮し続けるために、常にしくみを変革し、地域の NPO のモデルとなるような効率性と透明性の高い組織運営を心掛ける。

それぞれの柱については、漠然とした支援や取り組みではなく、対象と焦点を絞り

活動を展開した。

また、新年度を迎える直前の当センターは、多賀城市の市民活動サポートセンターの管理・運営を受託し、(2008年6月1日より)、2009年4月1日からは、名取市の市民活動支援センターの運營業務の一部を受託し、結果、仙台市・名取市・多賀城市という3つの自治体の4つの市民活動支援施設の運営が始まった。

さらには、仙台市市民活動サポートセンターは、開設されてから2009年6月30日で10周年を迎えた。仙台市市民活動サポートセンターの管理・運営受託は、当センターのミッションである市民公益活動支援達成のため、市民活動支援施設の運営を通じた市民参加と市民協働の実現に向けての取り組みの初めの一步であったが、それから10年後に複数の施設運営に関わっていることは、私たちの取り組みの成果でもあり、市民による市民活動支援組織としての新しいあり方を証明したことでもある。

その結果、スタッフの数も飛躍的に増えたことなどにより、組織運営の難しさを痛感することとなった。なかでも、同じ市内(徒歩10分以内)に本体の大町事務局と仙台市市民活動サポートセンター、シニア活動サポートセンターがあった以前とは異なり、2つの隣の市にある施設の運営をするということは、スタッフの意思疎通を図るうえでますます工夫することが必要になった。さらには、異なる自治体との施設運営についての見解には相違もあるなど、多くの問題を解決しながらの1年となった。これはまさに施設運営や関連事業を受託することを通じた市民公益活動支援と自治体の改革支援の2つにチャレンジしていることでもある。

ほかにも、地域のNPOや各分野の方々とのネットワーク形成にも力を入れる企画も新たに立ち上がり、地域の人材育成に向けての取り組みが動き出した年でもあった。さらには、アドボカシー活動としてこれまで行ってきた、NPO法改正や認定NPO法人の改正などの動きに加え、日本サードセクター経営者協会(JACEVO)設立準備会への参加や「仙台市長選挙を見すごさない市民活動の会」の事務局を担うなど、活発な活動を展開したことも今年の特徴の一つであった。

そして、企業のソーシャル化支援(地域CSR支援)についても、これまで縦割りになっていた、サポート資源提供システムやCSRセミナー、CSR推進相談所などの取り組みをつなぐ新体制を作り、担当理事と担当スタッフによる連携を確立、本体の事業だけでなく管理している施設との連携を図るしくみができた。

2008年度事業計画の重点テーマの成果と総括

2008年度の事業計画における重点テーマは、下記の4つをあげていた。

1. NPOの信用創造と課題解決力向上の連動
2. 地域を巻き込む取り組みのブランド化
3. NPOによる施設管理・運営の先駆モデルの確立と普及から改革を進める自治体

の市民参加・協働推進の支援

4. 次期を担う人材育成を積極的に行い、地域での人材育成体制を確立

それぞれのテーマについての成果と総括は以下のとおりである。

1. NPO の信用創造と課題解決力向上の連動

(★★★★★)

昨年、このテーマについては、①問題が困難であればあるだけ、全力を挙げた取り組みが必要である、②透明性を高めて社会の信頼を得、支援を獲得する取り組みが必要である、③事業経営の全般にわたるマネジメントの力が必要であること、といった3つの課題があることを述べていた。

そのため今年度は、みやぎの公益活動ポータルサイトみんなとNPO 情報ライブラリーの運営を強化し、団体情報の積極的な開示を推進した。また、目的に合わせたブログ(みんなブログ、みんなファンドブログ、多賀城市市民活動サポートセンターブログなど)やメールマガジンによるタイムリーな活動情報の発信を実施することができた。また、サポート資源提供システムとみんなファンドの運用についても、経営相談や助成相談会などに加え、資源提供先企業への報告を「見える化」するなど、新たな試みも実施した。ほかにも、提出された報告書を評価顕彰する仕組み「事業報告書大賞」を作ることにより、事業報告書作成のモデルを周知し、助成団体のモチベーションを上げることに成功した。

2. 地域を巻き込む取り組みのブランド化

(★★★)

せんだい CARES、CSR セミナー、CCF サロン、CSR 推進相談所など、企業との関係作りにも力を入れた1年であった。なかでも、CSR 推進相談所を開設したことにより、のべ10社以上の相談が寄せられ、NPO とのマッチングや社会貢献活動についての提案など、これまで以上に企業に当センターが貢献する機会が増えた。しかし、CSR に関する定期的な企業との勉強会を実施する予定の CCF サロンは、初回のみとなり、多くの企業の期待にこたえることができなかった。この点は、次年度の課題として改めて検討すべきテーマである。

また、NPO との協働による地域課題解決への巻き込みとブランド化についても、市民活動施設を通じて、あるいは委託事業や講師派遣等で取り組んできたが、成果を上げるということでは時間を要するものであり、引き続き NPO や自治体と共同で丁寧な取り組みが必要とかがえる。

3. NPO による施設管理・運営の先駆モデルの確立と普及から改革を進める自治体の市民参加・協働推進の支援

(★★★★)

4 つの公共施設の管理・運営【仙台市市民活動サポートセンター(99～)、仙台市シニア活動支援センター(07～)、多賀城市市民活動サポートセンター(08～)、名取市市民活動支援センター(06～)】を行っている当センターは、最初に受託した仙台市市民活動サポートセンターが、2009年6月で10周年を迎えることとなった。そこで、全国の支援施設の現状把握の調査を行い、自治体が設置した市民活動支援施設の在り方について検証を行った。その結果、仙台市への市民公益活動に関する施策についての提言やほかの自治体との協働のあり方など公共施設の市民管理・運営についての考え方の見直しをするなど、新たな取り組みについて問題提起をする機会を提供することができた。

また、多賀城市、岩沼市、名取市、丸森町、栗原市、住田町などの各自治体での地域づくり支援、協働の指針づくり、人材育成支援、災害復興支援など多様な関わりによって、市民参画・協働を推進する自治体への支援を形にした。また、東北圏地域づくりコンソーシアムや東北ソーシャルビジネス推進協議会、コミュニティ研究会などへの参加、EU自治セミナーの開催協力などを通して、自治体のコミュニティ政策への関わりが増え、各自治体からも大きな期待をいただいているので継続して取り組んでいく。

4. 次期を担う人材育成を積極的に行い、地域での人材育成体制を確立する

(★★★)

このテーマは、組織内での目標と同時に、地域の NPO の皆さんとの連携の取り組みの可能性としてもあげていたものであるが、中堅職員の能力向上にむけて代表理事や外部講師を迎えての内部研修を積極的に実施し、またスタッフの自主的な参加も多く見受けられた。また、全国の支援センタースタッフ研修を IHOE と協力して仙台で開催した。それらを含む外部研修に意欲的に参加するスタッフが増えたことも、今年度の評価されるべき点である。組織体制が大所帯になったことで、このような内外の研修を丁寧に行い、また参加できる仕組みを確立させることが今後の課題である。

なお、外部研修で評議員となっている団体での研修を受け入れてもらうなどの取り組み方針が影響したのかもしれないが、スタッフ自身が何らかの NPO に関わり活動し、地域に貢献する比率がこの1年で増えてきたことは喜ばしいことである。

また、地域のボランティア人材、活動参加者の増加という点では、東北ろうきん主催の東北ろうきんパートナーシップ制度の支援を一昨年に引き続き行い、NPO 一日体験者の増加に務めた。

II. 事業報告

事業名	政策提言活動																												
目的	制度や政策の学習を通し、NPO による政策提言活動の強化および政策に対する働きかけを通して、地域における社会的課題の解決につなげることを目的とする。																												
実施概要	<p>1. 「NPO 法施行 10 年」地域意見交換会</p> <table border="1" data-bbox="331 560 1362 880"> <tr> <td>主催</td> <td>民主党(企業団体対策委員会:NPO 担当)、市民がつくる政策調査会</td> </tr> <tr> <td>協力</td> <td>(特活)せんだい・みやぎ NPO センター</td> </tr> <tr> <td>実施日</td> <td>12 月 20 日(土)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>仙台市市民活動サポートセンター</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td>NPO 法の施行 10 年を受け、民主党議員と市民活動団体とで意見交換を行った。民主党からは、岡崎トミ子参議院議員、大河原雅子参議院議員、郡和子衆議院議員が出席した。</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>24 名(NPO12 名、自治体議員 2 名、国会議員・秘書 4 名、主催者側事務局 2 名、当センター4 名)</td> </tr> </table>  <p>2. NPO 法学習会 in せんだい</p> <table border="1" data-bbox="331 1328 1362 1648"> <tr> <td>主催</td> <td>(特活)せんだい・みやぎ NPO センター</td> </tr> <tr> <td>共催</td> <td>NPO/NGO に関する税・法人制度改革連絡会</td> </tr> <tr> <td>協力</td> <td>(特活)あおもり NPO サポートセンター、(特活)杜の伝言板ゆるる</td> </tr> <tr> <td>実施日</td> <td>12 月 21 日(日)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>仙台市市民活動サポートセンター</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>松原明さん (特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 常務理事・事務局長</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td>NPO 法改正をめぐる動きと新公益法人制度について学習会を行った。</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>30 名(一般 23 名、当センター7 名)</td> </tr> </table> 	主催	民主党(企業団体対策委員会:NPO 担当)、市民がつくる政策調査会	協力	(特活)せんだい・みやぎ NPO センター	実施日	12 月 20 日(土)	場所	仙台市市民活動サポートセンター	概要	NPO 法の施行 10 年を受け、民主党議員と市民活動団体とで意見交換を行った。民主党からは、岡崎トミ子参議院議員、大河原雅子参議院議員、郡和子衆議院議員が出席した。	参加者数	24 名(NPO12 名、自治体議員 2 名、国会議員・秘書 4 名、主催者側事務局 2 名、当センター4 名)	主催	(特活)せんだい・みやぎ NPO センター	共催	NPO/NGO に関する税・法人制度改革連絡会	協力	(特活)あおもり NPO サポートセンター、(特活)杜の伝言板ゆるる	実施日	12 月 21 日(日)	場所	仙台市市民活動サポートセンター	講師	松原明さん (特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 常務理事・事務局長	概要	NPO 法改正をめぐる動きと新公益法人制度について学習会を行った。	参加者数	30 名(一般 23 名、当センター7 名)
	主催	民主党(企業団体対策委員会:NPO 担当)、市民がつくる政策調査会																											
協力	(特活)せんだい・みやぎ NPO センター																												
実施日	12 月 20 日(土)																												
場所	仙台市市民活動サポートセンター																												
概要	NPO 法の施行 10 年を受け、民主党議員と市民活動団体とで意見交換を行った。民主党からは、岡崎トミ子参議院議員、大河原雅子参議院議員、郡和子衆議院議員が出席した。																												
参加者数	24 名(NPO12 名、自治体議員 2 名、国会議員・秘書 4 名、主催者側事務局 2 名、当センター4 名)																												
主催	(特活)せんだい・みやぎ NPO センター																												
共催	NPO/NGO に関する税・法人制度改革連絡会																												
協力	(特活)あおもり NPO サポートセンター、(特活)杜の伝言板ゆるる																												
実施日	12 月 21 日(日)																												
場所	仙台市市民活動サポートセンター																												
講師	松原明さん (特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 常務理事・事務局長																												
概要	NPO 法改正をめぐる動きと新公益法人制度について学習会を行った。																												
参加者数	30 名(一般 23 名、当センター7 名)																												

3. 2009 仙台市長選挙を見ずごさない市民活動の会
 (http://blog.canpan.info/sendai-senkyo/)

(1)概要

7月の仙台市長選挙に向け、仙台市内で活動する市民活動団体に呼びかけて「2009 仙台市長選挙を見ずごさない市民活動の会」をつくり、当センターが事務局となって市民マニフェスト運動を行った。市民版マニフェストの作成と各候補者への配布、各候補者のマニフェストの検証、公開討論会の開催を通じ、各候補者をよく知ることと、市民活動団体の意見を市政に反映させることを目的とした。

(2)スケジュール・内容

5/22(金)	発足会(市民版マニフェストの内容の検討)
5/29(金)	記者会見(仙台市役所市政記者クラブ)
6/12(金)	マニフェスト評価会①
6/20(土)	マニフェスト評価会②
7/1(水)	マニフェスト評価会③
7/6(月)	立候補予定者公開討論会(会場:仙台市民会館小ホール、参加者 250名)
7/8(水)	ふりかえり

※記者会見、公開討論会以外は仙台市市民活動サポートセンターセミナーホールを会場として行った。

成果

- ①意見交換をすることにより、民主党のNPO政策に対する姿勢をうかがうことができた。
- ②公益法人制度改革のタイミングにあわせ学習会を持ったことで、公益法人制度やNPO法改正についての最新動向について理解を深めることができた。
- ③仙台市長選挙において、市民の側から市民マニフェストを作成し、示したことで、市民協働を中心とした政策について市民活動団体が強い関心を持っていることを、各候補者に伝えることができた。
- ④仙台市長選挙立候補予定者の公開討論会を実施したことで、世論に一定の影響を与えることができた。

課題

NPO側の政策提言能力をつけていくために、アドボカシーについての継続的な活動や地域ネットワーク形成が今後の課題である。

備考

事業名	NPO マネジメントサポート:全般																																
目的	社会変革・地域課題解決の可能性に満ち、多くの人々の参画にひらかれている活動で、積極的な情報開示に努める、意欲的な市民とその組織の成長を支援し、地域課題の解決とわが国における市民社会の形成に寄与する。																																
実施概要	<p>1. Panasonic NPO サポートファンド 助成公募説明会 & 組織基盤強化セミナー 団体の抱える組織課題に対して、どう取り組みれば組織の基盤強化ができるのか。そのためには、団体の現状分析から、正確に課題を定義し、その原因を分析することが重要である。団体の現状分析、そしてその課題解決を考えるためのセミナー(ワークショップ)を開催。セミナーでは、「Panasonic NPO サポート ファンド」2009 年助成事業の公募説明会も同時開催。</p> <table border="1" data-bbox="328 622 1099 768"> <tr> <td>日時</td> <td>2008 年 7 月 21 日(月) 13:00~17:30</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>仙台市市民活動センター</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>加藤哲夫(せんだい・みやぎ NPO センター)</td> </tr> <tr> <td>共催</td> <td>せんだい・みやぎ NPO センター、EPO 東北</td> </tr> </table> <p>2. 助成金セミナー</p> <table border="1" data-bbox="328 871 1366 1330"> <tr> <td>日時</td> <td>2008 年 10 月 4 日 13:00~20:00</td> </tr> <tr> <td>参加費</td> <td>無料(懇親会 4000 円)</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>67 名</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>ハーネル仙台</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>「非営利組織のファンドレイジング」 株式会社ファンドレックス代表取締役 鶴尾雅隆さん 「弱みを克服し強みを活かすには？」 (特活)せんだい・みやぎ NPO センター代表理事 加藤哲夫 「日本財団助成金について」 日本財団公益担当リーダー 外海陽子さん 「せんだい・みやぎ NPO センターの上手な使い方」 (特活)せんだい・みやぎ NPO センター代表理事 加藤哲夫</td> </tr> <tr> <td>実施体制</td> <td>主催:日本財団 共催:せんだい・みやぎ NPO センター 後援:河北新報社</td> </tr> </table> <p>3. 協働環境構築セミナー</p> <table border="1" data-bbox="328 1433 1366 1957"> <tr> <td>日時</td> <td>2008 年 11 月 19 日(土)13:00~17:00</td> </tr> <tr> <td>参加費</td> <td>1000 円(希望者のみ別途資料 1000 円)</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>17 名</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>仙台市市民活動サポートセンター 研修室 5</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>講義「協働の意義と協働のしやすさについて」 IIHOE 代表 川北秀人さん 事例報告 1「ウェブを活用した協働事例の発信と報告」 日本財団 CANPAN 運営事務局 荻上健太郎さん 事例報告 2「自治体における共同推進の取り組みについて」 自治体協働推進担当者他 コーディネーター/加藤哲夫 ワークショップ「NPO と自治体の協働をおり効果的に進めるために」 IIHOE 代表 川北秀人さん</td> </tr> <tr> <td>実施体制</td> <td>主催:(特活)せんだい・みやぎ NPO センター 共催:IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 後援:日本財団 CANPAN</td> </tr> </table>	日時	2008 年 7 月 21 日(月) 13:00~17:30	会場	仙台市市民活動センター	講師	加藤哲夫(せんだい・みやぎ NPO センター)	共催	せんだい・みやぎ NPO センター、EPO 東北	日時	2008 年 10 月 4 日 13:00~20:00	参加費	無料(懇親会 4000 円)	参加者数	67 名	会場	ハーネル仙台	内容	「非営利組織のファンドレイジング」 株式会社ファンドレックス代表取締役 鶴尾雅隆さん 「弱みを克服し強みを活かすには？」 (特活)せんだい・みやぎ NPO センター代表理事 加藤哲夫 「日本財団助成金について」 日本財団公益担当リーダー 外海陽子さん 「せんだい・みやぎ NPO センターの上手な使い方」 (特活)せんだい・みやぎ NPO センター代表理事 加藤哲夫	実施体制	主催:日本財団 共催:せんだい・みやぎ NPO センター 後援:河北新報社	日時	2008 年 11 月 19 日(土)13:00~17:00	参加費	1000 円(希望者のみ別途資料 1000 円)	参加者数	17 名	会場	仙台市市民活動サポートセンター 研修室 5	内容	講義「協働の意義と協働のしやすさについて」 IIHOE 代表 川北秀人さん 事例報告 1「ウェブを活用した協働事例の発信と報告」 日本財団 CANPAN 運営事務局 荻上健太郎さん 事例報告 2「自治体における共同推進の取り組みについて」 自治体協働推進担当者他 コーディネーター/加藤哲夫 ワークショップ「NPO と自治体の協働をおり効果的に進めるために」 IIHOE 代表 川北秀人さん	実施体制	主催:(特活)せんだい・みやぎ NPO センター 共催:IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 後援:日本財団 CANPAN
日時	2008 年 7 月 21 日(月) 13:00~17:30																																
会場	仙台市市民活動センター																																
講師	加藤哲夫(せんだい・みやぎ NPO センター)																																
共催	せんだい・みやぎ NPO センター、EPO 東北																																
日時	2008 年 10 月 4 日 13:00~20:00																																
参加費	無料(懇親会 4000 円)																																
参加者数	67 名																																
会場	ハーネル仙台																																
内容	「非営利組織のファンドレイジング」 株式会社ファンドレックス代表取締役 鶴尾雅隆さん 「弱みを克服し強みを活かすには？」 (特活)せんだい・みやぎ NPO センター代表理事 加藤哲夫 「日本財団助成金について」 日本財団公益担当リーダー 外海陽子さん 「せんだい・みやぎ NPO センターの上手な使い方」 (特活)せんだい・みやぎ NPO センター代表理事 加藤哲夫																																
実施体制	主催:日本財団 共催:せんだい・みやぎ NPO センター 後援:河北新報社																																
日時	2008 年 11 月 19 日(土)13:00~17:00																																
参加費	1000 円(希望者のみ別途資料 1000 円)																																
参加者数	17 名																																
会場	仙台市市民活動サポートセンター 研修室 5																																
内容	講義「協働の意義と協働のしやすさについて」 IIHOE 代表 川北秀人さん 事例報告 1「ウェブを活用した協働事例の発信と報告」 日本財団 CANPAN 運営事務局 荻上健太郎さん 事例報告 2「自治体における共同推進の取り組みについて」 自治体協働推進担当者他 コーディネーター/加藤哲夫 ワークショップ「NPO と自治体の協働をおり効果的に進めるために」 IIHOE 代表 川北秀人さん																																
実施体制	主催:(特活)せんだい・みやぎ NPO センター 共催:IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 後援:日本財団 CANPAN																																

4. 「NPO 塾～今、NPO 経営者は何をすべきか？」

日時	2008年12月14日(日)13:30～16:30
会場	仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
内容	・チャリティ・プラットフォームよりプレゼンテーションと質疑 ・せんだい・みやぎ NPO センターより JAGEVO 構想について話題提供 ・グループに分かれて各団体の課題と日本の未来と NPO に関する討議 ・発表とディスカッション
参加費	無料
対象	フロントライン(社会的課題に直接取り組んでいる団体)の NPO の現場で経営の指揮をとっている方(理事長などの経営者、事務局長)
参加者数	15名

5. NPO で人材は大切にされているのか～NPO 人材マネジメント・プロジェクト報告会
NPO の人材マネジメントに対する大学の調査研究に協力、その成果発表会を共催したものの。他者の眼を導入することで、新しい視点が拓ける可能性を示唆。

日時	2009年6月10日(水)16:40～18:40
会場	東北大学経済学部第2講義室
参加費	無料
対象	NPO 経営者・スタッフ・ボランティア、学生、市民(参加者約100人)
主催	東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センター NPO 人材マネジメント・プロジェクト、(特活)せんだい・みやぎ NPO センター
企画	東北大学経済学部・西出ゼミナール
備考	終了後、懇親会開催(茶菓子代500円、東北大学内)

6. 支援センター現場スタッフのための「支援力パワーアップ研修」2009

日時	5月16日(土)13時～5月18日(月)12時
会場	仙台市市民活動サポートセンター
主催	(特活)せんだい・みやぎ NPO センター IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]
企画協力	(特活)くびき野 NPO サポートセンター、(特活)新潟 NPO 協会、(特活)参画プラネット、(特活)岡山 NPO センター、(特活)きょうと NPO センター
講師	川北秀人(IIHOE 代表者) 加藤哲夫((特活)せんだい・みやぎ NPO センター代表理事)
主な内容	・講義「支援センターの7つのチカラの再確認」 ・ワーク&フィードバック「回答を一緒に考える10問10答、Q&A集」 ・ワーク&フィードバック「施設運営のヒント集」 ・ワーク&フィードバック「それぞれの施設の課題」 ・交流会「うちのセンターのここが自慢！」大会

成果 各種セミナーやワークショップの継続的な開催によって、多様かつ喫緊の情報の提供と NPO 間、自治体と NPO 間の協働やネットワークの構築にも資する事業を展開できた。複数の支援機関との協働事業として今後も展開していく。

課題 内容のある各種セミナーの開催に協力しているが、集客が課題である。

備考

事業名	NPO マネジメントサポート:環境 NGO 活動発展のための組織運営講座																																		
目的	京都会議から 10 年、NPO 法施行から 10 年が過ぎての社会情勢の変化を踏まえ、参加者が団体と地域の環境の「これまで」と「これから」を把握して、その中で自らの団体が果たすべき役割を明確にし、内部にかかえる課題を解決しながら、戦略的な行動計画を立案、実践していく力を身につけることを目的とする。																																		
実施概要	<p>1. 概要</p> <table border="1" data-bbox="331 488 1321 719"> <tr> <td>開催日</td> <td>2008 年 10 月 18 日(土)～19 日(日)</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>16 名</td> </tr> <tr> <td>参加費</td> <td>2000 円</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>ハーネル仙台</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>(特活)せんだい・みやぎ NPO センター 代表理事 加藤哲夫</td> </tr> <tr> <td>ゲスト</td> <td>(特活)登別自然活動支援組織モモンガくらぶ 事務局長 吉元美穂さん</td> </tr> </table> <p>2. 講座の内容とスケジュール</p> <p>ワークショップと講義、事例発表を行った。</p> <p>1 日目</p> <table border="1" data-bbox="400 898 1187 1144"> <tr> <td>10:00～10:10</td> <td>開会挨拶、オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>10:10～11:15</td> <td>講義(事業開発と組織開発)と年表作り</td> </tr> <tr> <td>11:20～12:30</td> <td>ゲストによる事例の紹介</td> </tr> <tr> <td>13:30～14:50</td> <td>事例からの学びと質疑応答</td> </tr> <tr> <td>15:05～16:20</td> <td>課題の明確化①</td> </tr> <tr> <td>16:20～16:30</td> <td>地球環境基金の紹介</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(交流会)</td> </tr> </table> <p>2 日目</p> <table border="1" data-bbox="400 1196 1187 1339"> <tr> <td>9:30～11:50</td> <td>課題の明確化②</td> </tr> <tr> <td>12:50～15:30</td> <td>課題解決のアイデアづくり</td> </tr> <tr> <td>15:40～16:25</td> <td>課題解決のアイデア発表</td> </tr> <tr> <td>16:25～16:35</td> <td>ふりかえり</td> </tr> </table>	開催日	2008 年 10 月 18 日(土)～19 日(日)	参加人数	16 名	参加費	2000 円	会場	ハーネル仙台	講師	(特活)せんだい・みやぎ NPO センター 代表理事 加藤哲夫	ゲスト	(特活)登別自然活動支援組織モモンガくらぶ 事務局長 吉元美穂さん	10:00～10:10	開会挨拶、オリエンテーション	10:10～11:15	講義(事業開発と組織開発)と年表作り	11:20～12:30	ゲストによる事例の紹介	13:30～14:50	事例からの学びと質疑応答	15:05～16:20	課題の明確化①	16:20～16:30	地球環境基金の紹介	(交流会)		9:30～11:50	課題の明確化②	12:50～15:30	課題解決のアイデアづくり	15:40～16:25	課題解決のアイデア発表	16:25～16:35	ふりかえり
開催日	2008 年 10 月 18 日(土)～19 日(日)																																		
参加人数	16 名																																		
参加費	2000 円																																		
会場	ハーネル仙台																																		
講師	(特活)せんだい・みやぎ NPO センター 代表理事 加藤哲夫																																		
ゲスト	(特活)登別自然活動支援組織モモンガくらぶ 事務局長 吉元美穂さん																																		
10:00～10:10	開会挨拶、オリエンテーション																																		
10:10～11:15	講義(事業開発と組織開発)と年表作り																																		
11:20～12:30	ゲストによる事例の紹介																																		
13:30～14:50	事例からの学びと質疑応答																																		
15:05～16:20	課題の明確化①																																		
16:20～16:30	地球環境基金の紹介																																		
(交流会)																																			
9:30～11:50	課題の明確化②																																		
12:50～15:30	課題解決のアイデアづくり																																		
15:40～16:25	課題解決のアイデア発表																																		
16:25～16:35	ふりかえり																																		
成果	<p>①課題の分析から目標の達成にいたるまでの、中長期的な視点から事業開発と組織開発を行うことの重要性を確認できた。</p> <p>②参加者が自らの団体の事例を取り上げ、課題を明確化し、解決のためのアイデアを考えることで、団体に持ち帰ってすぐ取り組むことができる実践的な研修となった。</p> <p>③東北地方にはなかなかない、多数のボランティアを中心としながら段階的に組織と活動を成長させている団体をゲストに呼んで事例を紹介してもらったことで、参加者にとってもとても刺激となった。</p> <p>④参加者同士が、ワークショップを通して相互にコメントし合い、意見を交換することで相乗効果の高い学びとなった。</p>																																		
課題	<p>①東北地方においては、地域の環境市民活動の中心となるべきネットワーク型環境団体も、組織マネジメントによって活動を発展させていくという意識がまだまだ乏しいのが実情である。こうしたネットワーク型環境団体を講座の運営にかかわらせていくようにすることが、地域の環境団体全体の組織マネジメントへの認識を高めることに役立つと思われる。</p> <p>②開催時期が 10 月で、特に自然体験系の環境団体はイベントの時期と重なり、集客がなかなか思うようにいかなかった。開催時期は検討の余地がある。</p>																																		
備考	委託者:独立行政法人環境再生保全機構																																		

事業名	NPO マネジメントサポート:NPO 経営相談				
目的	個別相談を通して、NPO・市民活動団体の運営上の課題解決をめざす。				
実施概要	<p>1. 概要 今年度も代表理事の加藤が、多様な経営相談に対応した。会計、資金調達、起業など、個別性が高く、かつ内容が高度な相談に対する窓口として重要なサービスであり、有効活用されている。</p> <p>2. 実施日</p> <table border="1" data-bbox="368 591 1278 842"> <tr> <td data-bbox="368 591 472 680">2008年</td> <td data-bbox="472 591 1278 680">7月9日、11月20日、12月19日</td> </tr> <tr> <td data-bbox="368 680 472 842">2009年</td> <td data-bbox="472 680 1278 842">1月19日、2月19日、2月24日、3月26日、3月31日、4月21日、4月30日、5月20日、5月21日、6月26日</td> </tr> </table>	2008年	7月9日、11月20日、12月19日	2009年	1月19日、2月19日、2月24日、3月26日、3月31日、4月21日、4月30日、5月20日、5月21日、6月26日
2008年	7月9日、11月20日、12月19日				
2009年	1月19日、2月19日、2月24日、3月26日、3月31日、4月21日、4月30日、5月20日、5月21日、6月26日				
成果	<p>①個別コンサルティングの必要性が認知されつつあり、助成金の申請にも、その成果が反映されてきている。</p> <p>②みんなファンドの各冠ファンドの応募前の相談会の開催を通じて、かなりの団体と詳しい活動上の課題についてヒアリングすることができた。基盤整備・組織開発型の助成プログラムも、ようやく軌道に乗りつつある。</p>				
課題	ライブラリーの活用の周知と助成金相談との連動があって、団体との相談関係を継続して築くことが可能な体制になった。今後は一人での対応ではなく、相談スキルを持つ人材の育成を継続して考えていきたい。				
備考					

事業名	交流・ネットワーク																						
目的	当センターの活動の幅を広げるための機会と NPO・自治体・企業といった各セクターをつなぐ場づくりを目指して、さまざまな交流の機会を設けている。																						
実施概要	<p>1. らんち de MATCH♪ ランチを食べながら、直接 NPO の現場の担当者とかかわる機会の少ない大町事務局との交流と情報交換の場。様子はニューズレターみんなに掲載している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>ゲスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月27日</td> <td>齊藤純子さん(特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場) 志水田鶴子さん(子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ)</td> </tr> <tr> <td>1月22日</td> <td>山岡講子さん(特定非営利活動法人 環境会議所東北) 小林幸司さん(財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク) 菅原正徳さん(特定非営利活動法人 水環境ネット東北)</td> </tr> <tr> <td>3月24日</td> <td>荒川陽子さん(地域生活支援オレンジねっと) 高橋節子さん(「将監沼の自然」とふれあいを育む会)</td> </tr> <tr> <td>5月19日</td> <td>大村昌枝さん(財団法人 宮城県国際交流協会) 小岩孝子さん(特定非営利活動法人 FOR YOU にこにこの家)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. らんちでござりす 今後の当センターを支えてくださる方々を増やして、組織強化を図るために毎回ランチをはさんで当センター理事との意見交換を行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>ゲスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月27日</td> <td>阿部芳吉さん(宮城教育大学理事・副学長)</td> </tr> <tr> <td>12月18日</td> <td>畠山明さん(株式会社セレクトィ「家庭教師のアップル」代表取締役)</td> </tr> <tr> <td>1月29日</td> <td>風見正三さん(宮城大学事業構想学部事業計画学科教授)</td> </tr> <tr> <td>3月18日</td> <td>大村虔一さん(宮城県教育委員会委員長)</td> </tr> <tr> <td>4月21日</td> <td>白木福次郎さん(株式会社白木屋 代表取締役社長、スペシャルオリンピックス・宮城 理事長)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 新年会 開催日: 2009年1月15日(木) 会場: 仙台市市民活動サポートセンター市民活動シアター 参加者: 70人</p> <p>4. プロペラトーク これまで実施していた NPO と市民の交流広場「セダードサロン」をリニューアルし、まち中のお店を会場にテーマを決めて NPO に関わるゲストを招きトーク&交流する企画。今年のテーマは「いのち」。 第1回目 ゲスト: 大沼えり子さん(特定非営利活動法人 ローゼンベルグ理事長) 日時: 2009年5月21日(木)19時 会場: シャンパンハウス「ル・オー・ルージュ」 参加者: 一般12人、スタッフ10人</p>	実施日	ゲスト	11月27日	齊藤純子さん(特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場) 志水田鶴子さん(子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ)	1月22日	山岡講子さん(特定非営利活動法人 環境会議所東北) 小林幸司さん(財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク) 菅原正徳さん(特定非営利活動法人 水環境ネット東北)	3月24日	荒川陽子さん(地域生活支援オレンジねっと) 高橋節子さん(「将監沼の自然」とふれあいを育む会)	5月19日	大村昌枝さん(財団法人 宮城県国際交流協会) 小岩孝子さん(特定非営利活動法人 FOR YOU にこにこの家)	実施日	ゲスト	11月27日	阿部芳吉さん(宮城教育大学理事・副学長)	12月18日	畠山明さん(株式会社セレクトィ「家庭教師のアップル」代表取締役)	1月29日	風見正三さん(宮城大学事業構想学部事業計画学科教授)	3月18日	大村虔一さん(宮城県教育委員会委員長)	4月21日	白木福次郎さん(株式会社白木屋 代表取締役社長、スペシャルオリンピックス・宮城 理事長)
実施日	ゲスト																						
11月27日	齊藤純子さん(特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場) 志水田鶴子さん(子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ)																						
1月22日	山岡講子さん(特定非営利活動法人 環境会議所東北) 小林幸司さん(財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク) 菅原正徳さん(特定非営利活動法人 水環境ネット東北)																						
3月24日	荒川陽子さん(地域生活支援オレンジねっと) 高橋節子さん(「将監沼の自然」とふれあいを育む会)																						
5月19日	大村昌枝さん(財団法人 宮城県国際交流協会) 小岩孝子さん(特定非営利活動法人 FOR YOU にこにこの家)																						
実施日	ゲスト																						
11月27日	阿部芳吉さん(宮城教育大学理事・副学長)																						
12月18日	畠山明さん(株式会社セレクトィ「家庭教師のアップル」代表取締役)																						
1月29日	風見正三さん(宮城大学事業構想学部事業計画学科教授)																						
3月18日	大村虔一さん(宮城県教育委員会委員長)																						
4月21日	白木福次郎さん(株式会社白木屋 代表取締役社長、スペシャルオリンピックス・宮城 理事長)																						
成果	<p>①ランチを一緒にしながら、情報交換し、お互いの信頼関係を築くことができた。 ②当センターのステークホルダーとの関係を深め、あらたなステークホルダーとの関係を構築できた。</p>																						
課題	ランチミーティングはたいへん好評なので、もう少し参加人数を増やして、気軽に話し合える NPO の仲間作りの機会を広げる必要を感じている。																						
備考																							

事業名	情報発信・情報サポート																					
目的	<p>せんだい・みやぎ NPO センターの活動をより幅広く社会に発信し、センターの存在と目的を周知すると共に、NPO・市民活動団体、企業そして一般市民にもメリットをもたらす情報の発信。センターの情報化を進め、情報発信力の向上を目指す。</p>																					
実施概要	<p>1. ホームページ イベントの告知やファンドの募集等のお知らせ、理事リレーコラムなどを掲載した。みんなみんポータル、NPO 情報ライブラリー、ブログを除いたアクセス数は年間 100514 で、月間平均 8376、一日平均 275.4 だった。職員募集があったときや、イベントが重なったときにアクセス数が増える傾向があった。</p> <p>2. みやぎの公益活動ポータルサイト「みんなみん」・NPO 情報ライブラリー (1) みやぎの公益活動ポータルサイト「みんなみん」(愛称:みんなみんポータル) 地域や活動テーマごとに展開される「地域・テーマ公益ポータルサイト」の一つとして、日本財団 CANPAN の協力により、全国に先駆けたモデルケースとして 2008 年 6 月に開設。その後相次いで千葉、栃木、京都、島根に開設され、2009 年 7 月現在では合計 5 つの公益ポータルサイトが展開されている。 http://minmin.canpan.info/</p> <p>(2) NPO 情報ライブラリー NPO の情報公開・開示を推進する重要なサービスであり、NPO の社会的信頼を創造するための非常に重要な仕組みである。 2008 年 6 月から全国的な団体情報データベースと共通化して運用されており、「みんなみんポータル」のトップページに表示され、一番のアクセス数を誇っている。</p> <p>3. ニュースレター「みんなみん」 配布対象は、当センター会員、評議員、サポート資源提供システム関係者、そして県内外 NPO 支援施設で、発行部数は約 700 部。内容としては、理事対談、当センターの事業紹介などといった毎号連続記事のものを基本に、新スタッフ紹介などその号独自のものが加わることもある。編集スタッフは谷口恵子が vol.61 までを、その後は小川真美が担当。紅邑晶子は通年担当。デザイン・レイアウトは DESIGN&ILLUSTRATION(氏家朗さん)に外注。</p> <table border="1" data-bbox="368 1308 1348 1899"> <thead> <tr> <th>Volume</th> <th>発行日</th> <th>主内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Vol.58</td> <td>2008 年 7 月 1 日</td> <td>理事対談(担当理事:紅邑) NPO 法人みやぎダンス理事長 定行俊彰さん</td> </tr> <tr> <td>Vol.59</td> <td>2008 年 9 月 1 日</td> <td>理事対談(担当理事:加藤) 多賀城市長 菊地健次郎さん</td> </tr> <tr> <td>Vol.60</td> <td>2008 年 11 月 1 日</td> <td>第 10 回総会報告</td> </tr> <tr> <td>Vol.61</td> <td>2009 年 1 月 1 日</td> <td>らんち de MATCH♪ ゲスト:NPO 法人せんだい杜の子ども劇場理事 斎藤純子さん 子ども虐待ネットワーク・みやぎ運営委員 志水田鶴子さん</td> </tr> <tr> <td>Vol.62</td> <td>2009 年 3 月 1 日</td> <td>理事対談(担当理事:大滝) 宮城県環境生活部 男女共同参画推進課長 NPO 活動促進室長(当時) 森奈美さん</td> </tr> <tr> <td>Vol.63</td> <td>2009 年 5 月 1 日</td> <td>理事対談(担当理事:黒澤) NPO 法人イコールネット仙台 代表理事 宗片恵美子さん</td> </tr> </tbody> </table>	Volume	発行日	主内容	Vol.58	2008 年 7 月 1 日	理事対談(担当理事:紅邑) NPO 法人みやぎダンス理事長 定行俊彰さん	Vol.59	2008 年 9 月 1 日	理事対談(担当理事:加藤) 多賀城市長 菊地健次郎さん	Vol.60	2008 年 11 月 1 日	第 10 回総会報告	Vol.61	2009 年 1 月 1 日	らんち de MATCH♪ ゲスト:NPO 法人せんだい杜の子ども劇場理事 斎藤純子さん 子ども虐待ネットワーク・みやぎ運営委員 志水田鶴子さん	Vol.62	2009 年 3 月 1 日	理事対談(担当理事:大滝) 宮城県環境生活部 男女共同参画推進課長 NPO 活動促進室長(当時) 森奈美さん	Vol.63	2009 年 5 月 1 日	理事対談(担当理事:黒澤) NPO 法人イコールネット仙台 代表理事 宗片恵美子さん
Volume	発行日	主内容																				
Vol.58	2008 年 7 月 1 日	理事対談(担当理事:紅邑) NPO 法人みやぎダンス理事長 定行俊彰さん																				
Vol.59	2008 年 9 月 1 日	理事対談(担当理事:加藤) 多賀城市長 菊地健次郎さん																				
Vol.60	2008 年 11 月 1 日	第 10 回総会報告																				
Vol.61	2009 年 1 月 1 日	らんち de MATCH♪ ゲスト:NPO 法人せんだい杜の子ども劇場理事 斎藤純子さん 子ども虐待ネットワーク・みやぎ運営委員 志水田鶴子さん																				
Vol.62	2009 年 3 月 1 日	理事対談(担当理事:大滝) 宮城県環境生活部 男女共同参画推進課長 NPO 活動促進室長(当時) 森奈美さん																				
Vol.63	2009 年 5 月 1 日	理事対談(担当理事:黒澤) NPO 法人イコールネット仙台 代表理事 宗片恵美子さん																				

	<p>4. 書籍販売部みんみん堂 NPO・市民活動に関心のある方が、関連資料を入手しやすいように、図書の販売を行い、NPOに関する専門的な情報を多くの人々が入手しやすいものにしていきたい。 事務所内での直販、講師派遣時の出張販売の他に、ホームページ掲載をご覧いただいた方から、FAX・メールで注文を受けている。</p> <p>取扱書籍:46種 内訳 ・センター関連書籍 17種 ・運営・マネジメント関連書籍 4種 ・NPO 基礎関連書籍 6種 ・報告書関連書籍 5種 ・その他書籍 15種</p> <p>予算販売目標:150万円 年度売上:955,953円(目標達成率63%) 内訳 ・事務所内および講演・セミナー時の販売売上 874,598円 ・仙台市市民活動サポートセンターの委託販売売上 62,495円 ・多賀城市市民活動サポートセンターの委託販売売上 18,500円</p> <p>売上達成率が63%となった理由として、事務所に書籍購入に来訪されるお客様は少ないことと出張先での販売売上が伸びなかったことがあげられる。 今後の課題はホームページ掲載をリニューアルし、インターネットからの注文を受け易く工夫することである。</p> <p>5. 河北新報 NPO 情報室 毎週河北新報社の夕刊に「NPO 情報室」というタイトルで、当センタースタッフが交代で宮城県内外の NPO に関するコラムを執筆。2005 年 10 月より現在まで続いている。</p> <p>6. みんみんメールマガジン(愛称:みんメル) 2009 年 4 月に、NPO 情報ライブラリー登録団体とせんだい・みやぎ NPO センタースタッフに向けて準備号を送信し、5 月より本格的に月 2 回の頻度で配信を開始。2008 年度は合計 4 号を配信した。2009 年 7 月現在、購読者数は 153 となっている。 基本的内容としては、毎号テーマ別(例:会計・財務、マネジメント、資金調達)の NPO・市民活動団体向けお役立ちホームページ・ブログ情報、そして、せんだい・みやぎ NPO センターが管理運営する 5 施設のイベント・セミナー情報、また時期により各種ファンド情報などが掲載される。今後の展望として、単なる情報発信のツールだけではなく、中身の濃い、読み物的なものも入れこんでいく。</p>
成果	<p>①NPO 情報ライブラリー設置による、NPO の情報開示と企業・市民側への情報の提供の促進。 ②団体ブログによる、情報開示チャンネルの増加に貢献。 ③みやぎの公益活動ポータルサイト「みんみん」展開での、宮城県域の NPO・市民活動情報の集約による社会的信頼構築。</p>
課題	<p>①全ての媒体をいかにリンクさせて、より効果的な情報発信のツールにしていくか、その活用方法の構築。 ②みんみんメールマガジンの存在の周知と内容の充実。</p>
備考	

事業名	市民公益活動支援施設運営:仙台市市民活動サポートセンター
目的	多様な市民活動がさらに活発になるように支援を行うとともに、市民・企業・行政の協議のまちづくりを推進していくことを目的とし、仙台市により設置されている。当センターは、中間支援センターとしての実績を活かし、仙台市の市民公益活動の促進、市民参加と協業を推進するため、1999年6月からの受託期間を経て2004年4月から指定管理者として管理・運営を受託している。
実施概要	<p>1. 新規事業 平成20年度は、以下の2つの新規事業に取り組んだ。</p> <p>(1) 全国の市民活動支援施設調査事業 平成21年6月に開館10周年を迎えることから、今後の10年を見据えた市民活動支援施設のサービスを再構築するため、全国の中核市以上の都市で設置されている市民活動支援施設へのアンケート調査ならびに関東圏・関西圏から8施設を抽出してのヒアリングを実施した。 また、調査報告会を開催し、調査報告とともにパネルディスカッション「今後の10年の市民活動支援施設のあり方を問う」を開催した。</p> <p>(2) 市民活動と町内会との協働事例収集 平成19年度に仙台市がコミュニティビジョンを策定したことを受け、市民活動と町内会の協働関係についての調査を実施した。協働事例として18事例を抽出し電話によるヒアリング調査により、その関係性の把握に努めた。</p> <p>2. 主な実施概要</p> <p>(1) 場の提供 (2) 情報の収集・提供 (3) 市民活動に関する相談(窓口での一般相談、協働相談、インキュベート相談) (4) 人材育成事業(NPOいろは塾、NPOステップアップ講座) (5) 誘導・啓発事業(出前サポセン) (6) ネットワーク推進事業(せんだいCARES2008タイアップ企画、協働セミナー、CSRサロン、町内会情報収集) (7) 調査事業(市民活動支援施設調査事業) (8) シアター関連事業(シアター活性化事業 企画を公募し、8企画を実施) (9) 施設管理 (10) 視察・見学受入 (11) ボランティア・中学生の社会体験活動受入</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>せんだい Cares タイアップ企画 「“災害”を超えて、いま、かんがえる いま、つながる」 ワークショップの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>出前サポセンの様子</p> </div> </div>

<p>成果</p>	<p>サポートセンターの5つの機能別の成果は以下のとおりである。</p> <p>1. 場の提供 平成20年度のサポートセンターの総利用者数は59,733名(前年比103% +1,790名)、総利用者件数は20,852件(前年比113% +2,401)となった。 場の提供として大きな位置を締める貸室、フリースペースも、過去3年間継続して使用件数、人数ともに増加している。特に、20名前後の少人数の会議を想定した貸室は90%以上の使用率となった。また、フリースペース(交流サロン)については、前年比116%の伸びとなり、少人数での打合せや作業の場としての活用がうかがえる結果となった。</p> <p>2. 情報収集・提供 平成17年サービスをスタートした「骨プロ」は好評である。(前年比107% +44件) 今年度は、骨プロ参加施設に新たに1施設加わり、合計10施設となった。また、参加施設であるせんだいメディアテークとの連携で、骨プロチラシの電子化サービスもスタートした。このことにより、サポセンや参加施設のみにとどまっていた情報を、市民が手軽にインターネット上で入手できるようになった。</p> <p>3. 市民・企業・行政の連携及び交流の推進 以下の事業を通して、各セクターをつなぐための情報提供や場づくりができた。 (1)出前サポセン(誘導・啓発事業) 地域の中核である各区の中央市民センターと連携し実施した。 プログラムを工夫し、地域で活動している団体同士が連携するための場づくりができた。 (2)せんだい CARES との連携(ネットワーク推進事業) テーマを「災害」としたことにより、NPO・町内会などの地縁組織・行政・企業など多様なメンバーの参加を得ることができ、今後のネットワーク形成のきっかけづくりができた。 (3)協働セミナー(ネットワーク推進事業) 協働のパートナーとなる行政とNPOを対象に、ワークショップ形式で講座を開催した。ともに学ぶことで、互いの特性の理解が進み、協働を進めるためのコツ(具体的手法)も実践的に伝えることができた。 (4)CSR サロン(ネットワーク推進事業) これまで不足していた、仙台・宮城の地域企業が取り組む社会貢献活動について、情報提供ができた。</p> <p>4. 市民活動に係る人材育成 (1)NPO いろは塾とステップアップ講座の開催 平成16年にスタートしサポートセンターの看板講座となった「NPO いろは塾」は、回数の増加、開催日時の検討を行った結果、受講者数は149名となった。受講後の団体立ち上げ相談に発展したケースもあり、これから何か始めようとする人々の、きっかけづくりとなった。 また、既に活動している団体向けの「ステップアップ講座」は、テーマや講師を検討した結果、受講者総数は90名となり(前年度比150%+30名)、市民活動団体の力づけのための講座提供ができた。</p> <p>5. 市民活動に関する相談 団体情報の照会や、団体運営に関する相談は、過去3年間微増している。人材育成事業の受講者から、立ち上げ相談につながるケースが増えてきた。</p>
<p>課題</p>	<p>①地域コミュニティ活動支援の充実をはかる。 出前サポセンや調査事業での成果をふまえ、既存施設とのネットワークを再構築し、市民協働型の地域形成を目指す。</p>
<p>備考</p>	<p>指定管理者として管理運営。 設置者: 仙台市(企画市民局地域活動推進課)</p>

事業名	市民公益活動支援施設運営:仙台市シニア活動支援センター
目的	シニア活動支援センターは、50歳代後半、定年退職前後の団塊・シニア世代のセカンドライフの支援を行うことを目的に仙台市が設置、2007年7月1日オープンした。当センターの情報や人脈を大いに活用しながら、施設の管理運営を実施している。
実施概要	<p>1. 相談</p> <p>(1) 一般相談(予約必要なし) シニア活動に関する幅広い相談にセンタースタッフが対応し、304件、319名、月平均25.3件の相談を行った。来館・対面での相談がのべ198件、電話が98件。</p> <p>(2) 総合相談(要予約、毎月第4木曜日) 計30件、30名の生きがい、経済、健康などのセカンドライフの相談に下記の相談員が対応した。</p> <p>(3) 専門相談(要予約、毎月第2土曜日) 地域・市民活動、起業相談など、さまざまなテーマで相談員が対応。 今年度は、NPO15団体、行政・外郭4団体、企業・自営3団体を専門相談員に迎え、計39件、40名の相談者に対応した。</p> <p>2. 情報の収集・提供 情報・交流コーナーでは、市民活動団体の活動事例や、タイムリーな地域のイベント情報、定年退職後のライフデザインに必要な情報、起業関連情報などを提供。図書の貸し出しも行う。また、センターだより「まだ*これ」を隔月発行、仙台市と連携しホームページの整備を行った。</p> <p>3. サロン、講座、その他の開催</p> <p>(1) シニアサロン 「市民が支える仙台のまつり・スポーツに参加しませんか！」 日時:4月21日(月)午後1時半～4時半 参加者:5名</p> <p>(2) 地域もあなたも明るくなる講座 日時:8月23日、30日(土)午後1時半～4時半 参加者:23日-4名、30日-7名 講師:(特活)おとなりどーし 代表理事 後藤義光さん ゲスト:「将監沼の自然」とふれあいを育む会 事務局長 高橋節子さん ゲスト:里山ネット赤坂 代表 和田伸太郎さん</p> <p>(3) 定年後、明るく迎えるためのハッキリ・スッキリ講座 日時:10月18日、25日(土)午後1時半～4時半 参加者:18日-10名、25日-8名(うち夫婦1組) ゲスト:仙台ボランティア英語通訳ガイド グループ GOZAIN 代表 高橋英夫さん 講師:シニア元気笑学校 校長 渡辺源治さん</p> <p>(4) 団塊世代の起業塾 日時:11/22、12/6、12/20(土) 参加者:11/22-16名、12/6-14名(個別相談会-8名)、12月20日-14名 講師:第1、2回 (株)イドム代表、富士市産業支援センターセンター長 小出宗昭さん 第3回 (特活)せんだい・みやぎNPOセンター 代表理事 加藤哲夫さん ゲスト:日本政策金融公庫仙台支店国民生活事業、創業支援課長 坂口肇さん</p> <p>(5) 企業担当者向け説明会 日時:7月11日(金)午後1時半～5時半 参加企業:10社、15名 内容:参加企業紹介、シニアセンター支援メニューの紹介、成果事例の紹介 今後の連携につなげるための情報・アイデア交換会</p>

	<p>(6)ゆたかなシニアライフを楽しむためのマッチング交流会 日時:6月22日(日)午後1時半～4時半 参加者:20名 講演者:仙台ボランティア英語通訳ガイドグループ GOZAIN 代表 高橋英夫さん 仙台傾聴の会 代表 森山英子さん 参加団体:・仙台ボランティア英語通訳ガイドグループ GOZAIN、仙台傾聴の会 SV2004、(特活)広瀬川の清流を守る会、(特活)ゆうあんどあい</p> <p>(7)シニアセンター大新年会 日時:2月16日(月)午後5時半～8時半 参加者:利用者33名、推進ネットワーク協力団体14名、スタッフ等関係者8名、計55名</p> <p>4. 視察・見学・取材対応 今年度の視察・見学対応は42件、286名であった。属性で見るとその他(個人、議員、公益法人等)が20件、ついで市民活動団体が11件、行政関係者9件の順であった。</p> <p>5. 推進ネットワーク、関係機関・団体との連携 主に市内の関連機関との連携協力を強化し、団塊・シニア世代のセカンドライフ支援を多角的に行うことを目的に、22支援機関・施設、19活動実践団体とのネットワークを形成している。 総合・専門相談、講座等の機会に協力を得て、日常的な連携を深めることができた。</p>
成果	<p>①紙媒体広報の拡大、工夫を始め、市内公共施設やNPO等関連機関のイベントや講座等への参加を積極的に行った。それにより、直接的、間接的に施設の認知度の向上につながった。</p> <p>②市内中小企業を対象に、企業担当者向けの説明会を実施した。参加企業は少数ながら、今後の連携の足がかりとなった。</p> <p>③相談、サロン、講座等への段階的な参加の機会を提供した。結果、施設への信頼が深まり、継続的な支援を行える土壌づくりができた。NPO等との仲介事例も数多く生まれた。</p>
課題と次年度事業の方向性	<p>1. 課題 ①社会状況とニーズの変化の的確な把握 ②「二本立て、三本立て」のセカンドライフの支援の充実 ③推進ネットワーク・関連機関との連携の向上</p> <p>2. 次年度事業の方向性 ①「相談事業」でいねいなニーズの掘り起こしと段階的・継続的支援を スタッフが対応する「一般相談」、より専門的、テーマ性を持たせた「セカンドライフ相談」「専門相談」などを段階的に実施し、相談者のニーズにきめ細かく応える。また、他機関との連携強化とセンターの認知度アップのため、仙台市民図書館を中心に外部で相談対応を行う、「出前シニアセンター」を年6回実施する。</p> <p>②「棚卸しサロン/交流会等/起業塾」で個別対応からグループ・当事者同士の交流を創出 定年退職後に新しい生活や活動をスタートするにあたって、自分自身の棚卸しを行い、整理するサロン、また、不況の中、新しい事業や活動を立ち上げたいと考える方を支援する起業塾も開催する。これらを相談事業との連携で段階的な支援メニューとして提供する。</p> <p>③「再就職支援機関/企業との連携」で、施設PRとより多面的な支援を 再就職支援機関等との連携により企業担当者向け説明会を実施し、利用者層の拡大を目指す。</p>
備考	<p>委託者:仙台市(企画市民局地域活動推進課)</p>

事業名	市民公益活動支援施設運営：多賀城市市民活動サポートセンター																																	
目的	<p>多賀城市との協働を通じ、市民活動支援を目的とする公共施設の運営を図ることで、以下の目的の達成を図る。</p> <p>①多賀城市を中心とした地域における市民活動の発展と活性化を図ること。 ②多賀城市を中心とした地域における市民・行政・企業の協働による新たな市民社会の形成を図ること。</p> <p>上記事項を踏まえ、特に開館初年度となった2008年度は以下の事項の達成に注力した。</p> <p>①2008年6月1日開館を実現すること。 ②会議室の安定供給と窓口サービスの開発を進めること。 ③相談対応を充実させ、ソフト支援の充実を図ること。 ④市内における施設の認知向上を図ること。</p>																																	
実施概要	<p>1. 施設管理業務(以下、平成20年6月～平成21年3月までの状況報告)</p> <p>(1) 総利用件数・総利用者数 総利用件数：3,065件 (うち、NPO：394件 生涯学習団体：457件 企業42件 行政他172件) 総利用者数：14,001人</p> <div data-bbox="480 857 1267 1364" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>総利用者数・総利用件数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>月度</th> <th>利用者数</th> <th>利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>6月</td><td>1450</td><td>300</td></tr> <tr><td>7月</td><td>1550</td><td>280</td></tr> <tr><td>8月</td><td>1400</td><td>320</td></tr> <tr><td>9月</td><td>2050</td><td>350</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1850</td><td>400</td></tr> <tr><td>11月</td><td>1850</td><td>280</td></tr> <tr><td>12月</td><td>1250</td><td>250</td></tr> <tr><td>1月</td><td>1550</td><td>280</td></tr> <tr><td>2月</td><td>2100</td><td>300</td></tr> <tr><td>3月</td><td>2100</td><td>320</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>(2) 貸室利用状況(会議室利用者数：13,170人 フリースペース利用者数：365人) (3) 情報掲示利用状況(チラシ：496件 ポスター：105件 ニュースレター：277件) (4) 印刷機利用状況(総利用件数：322件 総印刷枚数：175,748枚) (5) 団体情報ファイル(総収録団体数：338(うち、2市3町：34 県内：177 県外：127)) (6) 広報誌「たすすと」(発行(08年6月より隔月発行 年間発行部数：16,000部)</p> <p>2. 相談対応状況 (1) 総対応件数・総対応時間 総利用件数：297件 総時間：5,558分 施設の認知が高まるにつれ、既存の市民活動団体からのマネジメント相談や、新規団体の立ち上げ支援に係る相談が増加した。開館後に新たに立ちあがった団体は6団体あり、また、町内会・自治会からのマネジメント相談についても増加傾向にある。</p> <p>3. 実施事業状況 (1) オープニング事業「そうだ！サポセンに行こう！」 2008年6月1日に実施。内覧会の後に記念講演(講師は特定非営利活動法人びーのびーの理事長奥山千鶴子氏)とパネルディスカッションを実施し、開館の周知とともに多賀城市における市民活動の将来を展望する内容とした。</p>	月度	利用者数	利用件数	6月	1450	300	7月	1550	280	8月	1400	320	9月	2050	350	10月	1850	400	11月	1850	280	12月	1250	250	1月	1550	280	2月	2100	300	3月	2100	320
月度	利用者数	利用件数																																
6月	1450	300																																
7月	1550	280																																
8月	1400	320																																
9月	2050	350																																
10月	1850	400																																
11月	1850	280																																
12月	1250	250																																
1月	1550	280																																
2月	2100	300																																
3月	2100	320																																

<p>実施概要</p>	<p>(2)人材育成事業 ○NPO いちから塾(全7回実施) ○NPO マネジメント講座 ○共同事務室入居団体交流会 「NPO いちから塾」は新たに NPO を立ち上げようとする市民へのインキュベート支援としても機能した。『NPO マネジメント講座』は2回実施。第1回は初歩的なマネジメントを概論的に学ぶ機会とし、第2回はNPO・地縁組織・生涯学習団体の3者協働によるまちづくりのあり方について理解を深めるため、講師として高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科准教授の櫻井常矢氏をお招きした。市・市教委関係団体から多くの参加を実現。</p> <p>(3)誘導啓発事業 ○さぽせん広場～たがサポ出前プロジェクト！ 「さぽせん広場は」は全4回実施。市体育館との共催や地区公民館・市役所ロビーなど、実施場所の特性や地域状況に応じてプログラムを提供し、NPO についての基礎講座や地縁組織とNPO との連携・協働の促進についても配慮した。</p> <p>(4)たがじょう市民活動大交流会 NPO に限らず、地域づくりに関わる幅広い団体・行政関係者の協働を促進するワークショップ「わいわいがやがや！大交流会」とNPO の新たな人材確保を目指した「ボランティアマッチングタイム」の2部構成で実施。2市3町から多くの関係者を集め、交流促進の貴重な機会となった。仙塩広域圏におけるまちづくり拠点としての当センターの位置づけを明確化した。</p> <p>(5)市民活動調査事業 2009年2月実施。調査対象74団体、回収率は70.3%。当センター開設後の影響や各団体の財政規模、分野、地縁組織との協働に関するデータを収集した。</p>
<p>2008年度 の傾向</p>	<p>①ソフト支援に対するニーズの拡大 ②NPO・地縁組織・生涯学習団体の3者協働の促進 ③2市3町・仙台市を含む「仙塩広域圏」における広域拠点化 ④インキュベート支援の充実</p>
<p>成果</p>	<p>①短期間の開館準備をこなし、2008年6月1日に予定通り開館を果たしたこと。 ②会議室の貸出を中心とした窓口サービスの体系を完成させ、安定した利用者対応の体制を構築したこと。 ③年間約300件の相談に対応し、結果として6団体の新規団体立ち上げも実現したこと。また、町内会等地域団体からの相談についても件数を伸ばしつつあること。 ④1年間で約14000人(2008年6月1日～2009年3月31日)の利用者を迎え、まちづくりの拠点として認知されつつあること。</p>
<p>2009年度 の課題と重 点事業</p>	<p>1. 平成21年度の重点課題 (1)市民活動団体へのソフト支援を強化すること。中でも、組織運営(マネジメント)にかかるスキルアップと、立ち上げ支援に重点を置くこと。 (2)NPO・地縁組織・生涯学習団体の3者による連携と協働を促進すること。 (3)現役層(20代～40代)市民の、市民活動への誘導・啓発を進めること。 (4)2市3町・仙台市東部を含む仙塩広域圏からの市民活動団体の利用を促進すること。</p> <p>2. 平成21年度の重点事業 (1)市民活動団体のマネジメント支援や担い手の増強を図る「人材育成事業」。 (2)市民活動への市民の参加を促進する「誘導啓発事業」。 (3)市民活動の「パワー」と「可能性」を知り、NPO・地縁組織・生涯学習団体の協働を促すネットワーク形成事業→:NPO・地縁組織・生涯学習団体の3者連携は、次年度以降も重要なテーマである。その関係性を加速させるイベントを開館1周年記念事業として展開する。 (4)行政職員の市民活動に対する意識啓発を進める「市職員研修」</p>
<p>備考</p>	<p>委託者:多賀城市(総務部地域コミュニティ課)</p>

事業名	市民公益活動支援施設運営:名取市市民活動支援センター															
目的	<p>名取市市民活動支援センターは、平成 18 年 8 月より公益的な活動をしている団体や個人、これから活動をしようとする人たちのための拠点施設として、名取市が設置運営を行っている。</p> <p>当センターからは、毎週土曜日に定期的に相談員を派遣し、講座の開催や各種相談に対応しながら、施設の周知や利用の活性化につながるよう働きかけ、名取市または周辺地域で活動する団体や個人を支援することを目的とする。</p>															
実施概要	<p>1. 相談員派遣業務 ・毎週土曜日、支援センターに相談員を 1 名配置し、相談対応を実施した。 相談件数:16 件</p> <p>2. ニュースレターの発行 ・10 月より隔月で「なとセンだより」を発行。</p> <p>3. 講座等開催業務 (1)「なとセン土曜塾」 毎週支援センターに相談員として配置しているスタッフが様々なテーマで自由に参加できるミニ講座を開催した。</p> <p>(2)NPO 寺子屋 2008</p> <table border="1" data-bbox="414 1030 1348 1377"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>タイトル</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6 月 7 日(土) 13:30~16:30</td> <td>第 1 回「達人が教える！ まちづくりマップの作り方」</td> <td>講師 加藤哲夫 参加者 19 名</td> </tr> <tr> <td>9 月 13 日(土) 13:30~16:30</td> <td>交流イベント「名取まち歩きから まちづくりへ」</td> <td>講師 加藤哲夫 参加者 18 名</td> </tr> <tr> <td>12 月 13 日(土) 13:30~16:30</td> <td>第 2 回「地域で活動する市民活動 団体・NPO のための団体紹介パ ンフレットの作り方」</td> <td>講師 加藤哲夫 参加者 14 名</td> </tr> <tr> <td>2 月 21 日(土) 13:30~16:30</td> <td>第 3 回「団体も私も知ってもら おう！交流会」</td> <td>講師 紅邑晶子 参加者 10 名</td> </tr> </tbody> </table> 	実施日	タイトル	内容	6 月 7 日(土) 13:30~16:30	第 1 回「達人が教える！ まちづくりマップの作り方」	講師 加藤哲夫 参加者 19 名	9 月 13 日(土) 13:30~16:30	交流イベント「名取まち歩きから まちづくりへ」	講師 加藤哲夫 参加者 18 名	12 月 13 日(土) 13:30~16:30	第 2 回「地域で活動する市民活動 団体・NPO のための団体紹介パ ンフレットの作り方」	講師 加藤哲夫 参加者 14 名	2 月 21 日(土) 13:30~16:30	第 3 回「団体も私も知ってもら おう！交流会」	講師 紅邑晶子 参加者 10 名
実施日	タイトル	内容														
6 月 7 日(土) 13:30~16:30	第 1 回「達人が教える！ まちづくりマップの作り方」	講師 加藤哲夫 参加者 19 名														
9 月 13 日(土) 13:30~16:30	交流イベント「名取まち歩きから まちづくりへ」	講師 加藤哲夫 参加者 18 名														
12 月 13 日(土) 13:30~16:30	第 2 回「地域で活動する市民活動 団体・NPO のための団体紹介パ ンフレットの作り方」	講師 加藤哲夫 参加者 14 名														
2 月 21 日(土) 13:30~16:30	第 3 回「団体も私も知ってもら おう！交流会」	講師 紅邑晶子 参加者 10 名														
成果	<p>①NPO 寺子屋講座では参加者の連続受講が多く、団体同士の交流や連携を促すことができた。</p> <p>②ニュースレターの発行を行い、各公共施設や公民館等に配架することで、施設の PR につながった。</p>															
課題	<p>①毎週土曜日に定期的に相談員を配置したが、支援センターの土曜日の利用状況が少なく、定期的に利用する団体以外の団体にはなかなか周知されず、相談が伸びなかった。</p> <p>②利用状況に応じた相談員の配置の工夫と支援センターの PR をするための広報ツールとしてブログなどの作成を行う。</p> <p>③各公民館などで活動する団体などの情報を収集するなど、支援センターにおける情報を厚くし、市民が利用しやすい施設づくりをしていく。</p>															
備考	<p>委託者:名取市(総務部男女共同・市民参画推進室)</p> <p>※2009 年 4 月 1 日より運営業務の一部を受託し、月・水・木・金の週 4 日スタッフ一人配置の体制で施設とサービスの充実を図っているところである。</p>															

事業名	サポート資源提供システムとみんなファンド																				
目的	サポート資源提供システムとは、地域の NPO・NGO/市民活動団体、ボランティア団体など（以下 NPO）が必要とする様々な経営資源（物品、パソコン、資金、人材、ボランティア、ノウハウなど）を、企業、各種団体、市民など社会一般から集め、それを NPO に仲介・提供することで、NPO を支援し、地域を元気にする仕組み。また、資金提供を通じて、企業と NPO のパートナーシップ形成によって、企業活動にとっても NPO の活動にとっても大きなメリットを生み出していくことを目指している。																				
実施概要	<p>1. 2008 年度資源提供実施状況（2008.4.1～2009.3.31）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>提供先団体数 （のべ数）</th> <th>提供点数</th> <th>金額換算価値 （*）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物品等提供</td> <td>17 団体</td> <td>814 点</td> <td>244.2 万円</td> </tr> <tr> <td>パソコン等提供</td> <td>5 団体</td> <td>9 点</td> <td>22.5 万円</td> </tr> <tr> <td>資金提供＝ みんなファンド</td> <td>31 団体</td> <td>—</td> <td>747.05 万円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>53 団体</td> <td>—</td> <td>1013.75 万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>（*）物品・パソコンは一般の中古市場価格にて換算</p> <p>2. 助成金説明会 助成金申請前の応募相談会または助成公募説明会を実施した。 ・ろうきん地域貢献ファンド：2008 年 7 月 22 日 2 件、7 月 23 日 3 件、計 5 件（2 日間）。 ・みんな本体ファンド：2008 年 9 月 24 日助成公募説明会開催。5 団体参加。 ・みやぎ NPO 夢ファンド：2008 年 3 月 31 日「ステップアップ支援プログラム」相談会 6 件、3 月 27 日・3 月 28 日・4 月 1 日・4 月 2 日「組織開発（人材育成を含む）支援プログラム」「スタートアップ支援プログラム」相談会 20 件、計 26 件（5 日間）。</p>		提供先団体数 （のべ数）	提供点数	金額換算価値 （*）	物品等提供	17 団体	814 点	244.2 万円	パソコン等提供	5 団体	9 点	22.5 万円	資金提供＝ みんなファンド	31 団体	—	747.05 万円	計	53 団体	—	1013.75 万円
	提供先団体数 （のべ数）	提供点数	金額換算価値 （*）																		
物品等提供	17 団体	814 点	244.2 万円																		
パソコン等提供	5 団体	9 点	22.5 万円																		
資金提供＝ みんなファンド	31 団体	—	747.05 万円																		
計	53 団体	—	1013.75 万円																		
成果	<p>今期（2008.4.1～2009.3.31）は「サポート資源提供システム」の本格運用 7 年目、その資金提供プログラム「地域貢献サポートファンドみんな（みんなファンド）」の運用 6 年目となる。</p> <p>前年度と同様、オフィス什器・備品や事務用品といった「物品等提供」、中古パソコンや周辺機器を提供する「パソコン等提供」、そして「資金提供＝みんなファンド」の 3 プログラムで資源提供が行われた。年間の実績としては下記の表に示す通り、のべ 53 団体に約 1013.75 万円相当の支援を実施することができた。なお 2001 年 9 月のシステム運用当初からの支援総額累計は 6227.05 万円となった。</p> <p>サポート資源提供システムとみんなファンドによる資源提供と申請相談事業の強化と地域公益ポータルサイト活用による情報開示・発信支援をクルマの両輪として運営していくことで大きな展望が見えてきたのが、本年度の特徴である。</p>																				
課題	ライブラリーとポータルによる情報開示・発信支援と助成金相談会の継続的な開催、コンサルティング団体の増加、せんだい CARES キャンペーンとの連動、CSR への取り組みなどの全体の連動性を高め、資源の提供効果を上げることにより支援企業を獲得することが課題である。																				
備考	協賛企業・団体 6、提携企業・団体 8																				

事業名	せんだい CARES2008
目的	NPO と企業と市民をつなぐまちづくりキャンペーン。2003 年から取り組んでおり、NPO のイベントが盛んな 11 月を中心に展開し、仙台市民に仙台で活躍する NPO の存在を認知してもらい、NPO の活動への参加と活用の機会を促進する。 2008 年度のキャッチフレーズは、「つながることがまちのチカラになる。」
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. せんだい CARES2008 まちづくりキャンペーンの実施 25000 部のパンフレットを配布 期間:2008 年 10 月 25 日(土)~11 月 30 日(日) 場所:仙台市内各所、対象:仙台市民 2. セタチャリティ<写真撮影代行サービス>の実施 昨年に引き続き、2 年目となる仙台セタの観光客のお世話をしして寄付金を募る活動。 日時:2008 年 8 月 6 日(水)~8 日(金) 場所:一番町 DATE ONEビル前 対象:セタ観光客 活動者:のべ 60 人 成果:150,972 円 3. NPO スマイルウィークの開催 NPO の活動と企業の CSR に関する活動の紹介を行った。ステージでは、環境に関するプレゼンテーションを実施した。 日時:11 月 11 日(火)~16 日(日) 場所:東北電力グリーンプラザ 1F・アクアホール 入場者数:34000 人 4. cares・ケアーズ(学生と NPO をつなぐ NPO 体験プログラム)の実施 参加大学:4 大学(東北学院大学、東北大学、東北福祉大学、宮城学院大学) 参加者:19 人 受け入れ団体:11 団体 5. 仙台市市民活動サポートセンターとのタイアップ企画の実施 せんだい CARES とのタイアップ企画ということで「災害発生、そのとき NPO ができること」というテーマでパネリディスカッションとワークショップを開催した。 6. せんだい CARES 応援チケットの売り上げの一部を寄付 岩手・宮城内陸地震で被災した(特活)くりこま高原・地球のくらしと自然教育研究所に 47,800 円を寄付した。
成果	<ol style="list-style-type: none"> ①31 の NPO が参加し 40 の企業が協賛。自治体関係やマスコミ各社の後援を得られた。 ②NPO スマイルウィークには、3400 人の入場者を得ることができ NPO の活動紹介と企業の社会貢献活動を発表することができた。 ③25000 部のパンフレットを公共施設および参加 NPO や企業を通じて市内各地で配布。60% 近くを企業協力により配布することができた。今回は、雑誌風に編集方針を変更し、NPO や NPO を応援する企業などにへのインタビューも取り入れた。また、表紙も仙台の街をバックに撮影し、共感を得ることができた。 ④CARES ケアーズは、株式会社デュナミスの協力により 19 人の学生が参加した。 ⑤ケアーズ応援チケットの一部を栗駒・花山で被災した NPO に寄付した。 ⑥仙台市市民活動サポートセンターとのタイアップ企画を実施できた。
課題	<ol style="list-style-type: none"> ①参加 NPO の数があまり増えない点が、課題。参加費の問題か PR 不足なのかが検討する必要がある。 ②NPO スマイルウィークの場所では物販や団体の情報の一部が公表できないなど、運営上難しいところがあった。 ③企業協賛のほうも伸び悩んでおり、資金調達面でも検討が必要である。
備考	主催:せんだい CARES 実行委員会 共催:仙台市・せんだい・みやぎ NPO センター 協力団体:株式会社デュナミス (当センターは事務局を担当している)

事業名	コミュニティ政策支援
目的	市民参画・協働型の自治体経営をめざし、住民自治と市民活動推進の基盤整備を進める改革志向の自治体を支援し、NPO と自治体の協働を進めることで、住民自治を推進し、よりよい地域経営を実現する。
実施概要	<p>1. 東北圏地域づくりコンソーシアム 「東北こんそ(東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会)」という、宮城大学等教育機関、NPO(まちづくり政策フォーラム、東北開発研究センター等)、コンサルタント等企業、経済団体、行政等の様々な分野の団体・個人が参加・連携して、多様な主体の知恵、ノウハウの結集により地域づくりに足りない要素を東北圏全体で補い合う支援ネットワーク(コンソーシアム)の構築に参加し、1年間、事業を推進した。結果、東北各地の地域自立型の取り組みの担い手や自治体、それに関係機関などにネットワークが広がった。 URL http://www.tohokuconso.org/</p> <p>2. コミュニティ自立研究会 東北開発研究センターの自主研究会であるコミュニティ自立研究会には、加藤代表理事が設立以来参加して、共著3冊を上梓し、成果を蓄積しつつあったが、08年度は公募により選考された岩手県住田町において、職員・議員研修、集落の地域づくり支援、人材養成塾の開催等の支援を、年間を通して行い、一定の成果をみた。他、栗原市の自治会政策に助言した。</p> <p>3. EU 地域セミナー 09年6月25日には、仙台市において、欧州連合日本代表部の主催で、EU地域セミナーが開催された。開催支援を依頼された当センターは、地域自治をテーマにEUと日本の政策比較を軸としたセミナーの開催を提案、実施に至った。ドイツ・日本研究所のフォルカー・エリス経営・経済研究部部長の講演を軸に、山田晴義当センター理事と仙台市職員、いわてNPO-NET サポート理事長とのパネルディスカッションを加藤のコーディネートで行った。ポトムアップ型のEUの再配分政策と日本の実情の比較が示唆的だった。多くの自治体関係者に参加いただき、関心の高さを実感した。</p> <p>4. 協働環境調査 IIHOEの主催で、全国の支援センターが協力する協働環境調査の第4回目が、09年5月より始まっており、当センターも調査に協力している。</p> <p>5. その他 丸森町では07年度に引き続き、人材養成塾の開催、岩沼市は協働の指針づくりの会議のコーディネートとアドバイス、富谷町の総合計画づくりの協働部門の支援等を行った。</p>
成果	東北圏地域づくりコンソーシアムの結成に参加、1年間地域支援事業に関わり、また東北開発研究センターのコミュニティ自立研究会にも加藤代表理事が参画、住田町の地域づくり支援を行った。その他、加藤代表理事が多賀城市の地域経営アドバイザーとして各種相談と地域福祉ワークショップ、観光セミナーなどに関与、栗原市、岩沼市、富谷町などの自治体と関わりを深め、今後の方向性が見えてきた。
課題	この分野は、ここ5、6年の研究会参加の成果が見える形になったものであり、今後も研究と実践を重ね、大学やシンクタンクとの連携を図っていくことが必要である。
備考	

事業名	企業のソーシャル化支援
目的	2008年度の3つの柱の一つ、「企業のソーシャル化支援」。サポート資源提供システムを生み出す際に築いた企業との関係を、せんだいCAREやCSRセミナーの開催により、企業からNPOに支援を受けるのみならず、NPOの持つ資源を企業に提供できる機会を提供する。
実施概要	<p>1. CSR推進相談所の開設 5月に開設した「CSR推進相談所」は、CSRへの取り組み方だけに限らず、NPOとの連携や支援先の相談、CSRレポートの第三者評価など、さまざまな問い合わせや相談をいただいた。</p> <p>2. CCFサロン「宮城の企業を元気にするCSRを考える会」の開催 当センターのCSR推進担当理事によるイベント。 基調講演：大滝精一さん（東北大学大学院経済学研究科教授） 日時：2008年7月7日（月） 会場：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール</p> <p>3. 地域のCSRセミナー in せんだい「地域に根ざしたCSRが社会を変える！」の開催 基調講演：田村太郎さん（ダイバーシティ研究所所長） 日時：2008年8月28日（木） 会場：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール 参加者数：19名</p> <p>4. 企業向け忘年会の開催 日時：2008年12月3日 会場：エクセルホテル東急 地階 星ヶ岡 参加者数：19名</p> <p>5. 新春！企業向け特別セミナー「世界一簡単なCSR報告書の作り方」 講師：川北秀人さん（IHOE [人と組織と地球のための国際研究所]代表） 日時：2009年1月26日（月） 会場：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール 参加者：21名</p>
成果	<p>①5月に開設したCSR推進相談所への問い合わせや相談が10件以上あった。</p> <p>②CCFサロン、CSRセミナーへの参加企業が昨年に引き続き参加してくれた。</p> <p>③忘年会の中でNPOを仲介しての社会貢献活動担当者同士の異業種交流の場を提供できた。</p>
課題	2008年9月のリーマンショックの影響を受けて、企業のCSRに関する関心がいま一つになってきた。こういう時期だからこそ企業のあり方を社会に向けてどう示すかが重要であること、また当センターはそのお手伝いができることを伝えていかなければならず、その方法を検討する必要がある。
備考	

事業名	市民協働のまちづくり:まち美化に関する市民活動のための支援事業
目的	本事業は、市民公益活動支援の一環として実施しており、市民参加のまちづくりを「ポイ捨てごみ」から考えるというスローガンで仙台市環境局廃棄物管理課との協働事業として実施している。
実施概要	<p>1. 全市一斉「ポイ捨てごみ」調査・清掃キャンペーンの実施</p> <p>春:平成 20 年 5 月 31 日～平成 20 年 6 月 22 日、参加者 2,779 人 他会場のキャンペーン関連催しの参加者も加えると、13,312 人の参加</p> <p>秋:平成 20 年 9 月 1 日～平成 20 年 10 月 19 日、参加者 2,237 人 他会場のキャンペーン関連催しの参加者も加えると、12,161 人の参加</p> <p>2. まち美化達人セミナーの実施</p> <p>まち美化達人セミナーを 2 回連続開催。世代をこえた 7 人が参加。</p> <p>平成 20 年 10 月 1 日(水) 13 時～16 時 「アレマ隊」体験編 平成 20 年 11 月 15 日(土) 13 時～16 時 「達人の技」学習編</p> <p>ゲスト:まち美化達人 白石浩三さん</p> <p>会場:仙台市役所上杉分庁舎 参加者 7 人</p> <p>3. アレマ隊 10 周年記念大交流会の実施</p> <p>平成 21 年 2 月 7 日(土) 13 時～16 時</p> <p>会場:仙台市市民活動サポートセンター 参加者 45 人</p> <p>ゲスト:大澤正輝さん((特活)グリーンバード 副代表)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>4. 仙台まち美化ネットワーク通信(アレマ新聞)の発行</p> <p>平成 20 年 9 月 1 日(土) 第 17 号、平成 21 年 4 月 1 日(水) 第 18 号</p>
成果	<p>①今年、この事業がスタートして 10 年目となり、春と秋に実施されるまち美化キャンペーンでの参加者からの報告でも、多くの方々からポイ捨てゴミが減少したという報告が増えている。平成 20 年度はのべ、5000 人のアレマ隊員が活動した。ちなみに、この 10 年間では、のべ 5 万人が活動。</p> <p>②年度末に開催したアレマ隊員の交流会には、東京からグリーンバードの副代表をお呼びして記念講演や、この 10 年間の活動報告を参加者の方をお願いしたところ、大勢の方が参加して、10 年目の実績を実感することができた。</p> <p>③アレマ隊またはまち美化サポーターとして、企業の参加が増えている。</p>
課題	<p>①若い人たちの参加がなかなか進まないの、次年度は小中学生対象の講座を企画したい。</p> <p>②市内のどこで、どんなアレマ隊の活動が行われているかがわかると、新たな参加者も活動しやすいという声があるので、それにこたえる体制づくりを廃棄物管理課と検討したい。</p>
備考	委託者:仙台市環境局廃棄物管理課

事業名	市民協働のまちづくり:クリーン仙台推進員平成 20 年度グループ学習会運営業務と事例集作成業務																		
目的	地域で起こっているごみ問題について整理し、問題解決に向けた市民 PR の手法などを学習することにより、クリーン仙台推進員のスキルアップを図るとともに、推進員間のネットワーク形成を目指す。また、学習会に参加できない推進員のために事例集を作成する。																		
実施概要	<p>1. 概要</p> <p>本年度も代表理事の加藤が担当して実施した。</p> <p>本年度のクリーン仙台推進員グループ学習会は、以下の日程と参加者で、初級編3回を土曜コース、水曜コース、金曜コースの3コースに分けて、計9回開催した。また、推進員の委嘱2年目の年であったこと、仙台市でのごみ袋有料化の時期でもあり、多くの市民からの参加希望に応じて、追加コース(共通日+3コース)を用意して、多数の市民の参加を得て学習会を行った。</p> <p>内容としては、例年の成果を継承し、基本的な考え方とスキルに特化して、なるべく初参加の推進員対象に、今までのグループ学習会で蓄積した課題解決のためのアイデアや考え方を知ってもらい、直接の行動につながるように計画・実施した。追加コースの内容では、初回の考え方編と3回目のポスターづくりを中心とした広報・告知研修に絞った2回コースとした。</p> <p>2. グループ学習会開催スケジュール</p> <p>(1)初級編</p> <p>土曜コース</p> <table border="1" data-bbox="368 1216 1177 1361"> <tr> <td>第1回</td> <td>平成20年5月31日(土)午後1時30分～3時30分</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>平成20年6月14日(土)午後1時30分～3時30分</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>平成20年7月12日(土)午後1時30分～3時30分</td> </tr> </table> <p>水曜コース</p> <table border="1" data-bbox="368 1462 1177 1608"> <tr> <td>第1回</td> <td>平成20年7月16日(水)午後1時30分～3時30分</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>平成20年8月20日(水)午後1時30分～3時30分</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>平成20年9月10日(水)午後1時30分～3時30分</td> </tr> </table> <p>金曜コース</p> <table border="1" data-bbox="368 1709 1177 1854"> <tr> <td>第1回</td> <td>平成20年7月11日(金)午後1時30分～3時30分</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>平成20年8月1日(金)午後1時30分～3時30分</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>平成20年9月5日(金)午後1時30分～3時30分</td> </tr> </table>	第1回	平成20年5月31日(土)午後1時30分～3時30分	第2回	平成20年6月14日(土)午後1時30分～3時30分	第3回	平成20年7月12日(土)午後1時30分～3時30分	第1回	平成20年7月16日(水)午後1時30分～3時30分	第2回	平成20年8月20日(水)午後1時30分～3時30分	第3回	平成20年9月10日(水)午後1時30分～3時30分	第1回	平成20年7月11日(金)午後1時30分～3時30分	第2回	平成20年8月1日(金)午後1時30分～3時30分	第3回	平成20年9月5日(金)午後1時30分～3時30分
第1回	平成20年5月31日(土)午後1時30分～3時30分																		
第2回	平成20年6月14日(土)午後1時30分～3時30分																		
第3回	平成20年7月12日(土)午後1時30分～3時30分																		
第1回	平成20年7月16日(水)午後1時30分～3時30分																		
第2回	平成20年8月20日(水)午後1時30分～3時30分																		
第3回	平成20年9月10日(水)午後1時30分～3時30分																		
第1回	平成20年7月11日(金)午後1時30分～3時30分																		
第2回	平成20年8月1日(金)午後1時30分～3時30分																		
第3回	平成20年9月5日(金)午後1時30分～3時30分																		

	<p>(2) 追加コース</p> <table border="1"> <tr> <td>第1回(各組共通プログラム)</td> <td>平成20年8月22日(金)午後1時30分～3時30分</td> </tr> <tr> <td>第2回 Aコース</td> <td>平成20年9月4日(木)午後1時30分～3時30分</td> </tr> <tr> <td>第2回 Bコース</td> <td>平成20年10月22日(水) 午後1時30分～3時30分</td> </tr> <tr> <td>第3回 Cコース</td> <td>平成20年10月23日(木) 午後1時30分～3時30分</td> </tr> </table> <p>3. 事例集作成</p> <table border="1"> <tr> <td>平成20年12月</td> <td>企画</td> </tr> <tr> <td>平成21年1月～3月</td> <td>取材・原稿化・デザイン・レイアウト他</td> </tr> </table> <p>※取材・原稿化は、市民ライターグループおかきプラスに依頼して実施</p>	第1回(各組共通プログラム)	平成20年8月22日(金)午後1時30分～3時30分	第2回 Aコース	平成20年9月4日(木)午後1時30分～3時30分	第2回 Bコース	平成20年10月22日(水) 午後1時30分～3時30分	第3回 Cコース	平成20年10月23日(木) 午後1時30分～3時30分	平成20年12月	企画	平成21年1月～3月	取材・原稿化・デザイン・レイアウト他
第1回(各組共通プログラム)	平成20年8月22日(金)午後1時30分～3時30分												
第2回 Aコース	平成20年9月4日(木)午後1時30分～3時30分												
第2回 Bコース	平成20年10月22日(水) 午後1時30分～3時30分												
第3回 Cコース	平成20年10月23日(木) 午後1時30分～3時30分												
平成20年12月	企画												
平成21年1月～3月	取材・原稿化・デザイン・レイアウト他												
成果	<p>①延べ 637 人の参加があった。前年の参加者数は、298 人なので、約 2 倍強の参加者増になったことになる。また、2008 年の春に、クリーン仙台推進員の制度が手直しされ、追加で推進員が多数誕生したことも、参加希望者数が伸びた大きな要因だろう。</p> <p>②事例集は、約 30 事例を取材、加藤の講演内容と共に、A4 版 60 ページほどのものになった。仙台市は 1 万部を印刷、推進員のみならずすべての町内会にも配布の予定で、その波及効果が期待できる。取材でわかったことは、各町内でさまざまな取り組みを成功させている推進員は、グループ学習会で学習したことを、実に見事に活かして、地域の問題解決に寄与しているということであり、事業の成果は確実に実っている。</p>												
課題	<p>①交流と情報共有の機会を地域でもっと創出する。各区での開催へ。</p> <p>②実践的なノウハウとツールを紹介する冊子、ビデオ、DVD の制作と配布。→事例集に！</p> <p>③グループ学習会の地域での開催に必要な人材の育成。</p> <p>④仙台市内部でのクリーン仙台推進員制度の創造価値の理解促進。</p>												
備考	委託者：仙台市環境局廃棄物管理課												

事業名	市民協働のまちづくり:東北地区 NPO 支援センター連絡会議とパートナーシップ制度															
目的	東北ろうきんは東北地区全体を対象に CSR を推進するためパートナーシップ制度を手始めに取り組んでいくが、そのためには東北 6 県の支援センターとの協働による事業実施体制が必要であり、当センターとして協力・推進していくことで、東北 6 県の支援センターのつながりを深め、東北労金の CSR の取り組みが前進することを目的とする。															
実施概要	<p>1. 2008 年度東北地区 NPO 支援センター連絡会議開催スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="368 555 1398 734"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日時</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回</td> <td>6 月 13 日</td> <td>ろうきんパートナーシップ制度 2008 年度の取り組みについて</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>7 月 18 日</td> <td>チラシ作成進行確認等</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>10 月 17 日</td> <td>広報進捗確認等</td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>2 月 20 日</td> <td>2008 年度成果確認と次年度への展開について</td> </tr> </tbody> </table> <p>※会場はすべて東北ろうきん会議室</p> <p>2. 2009 年度の開催について 2009 年度は、事前打ち合わせを各県で進め、7 月 3 日に仙台で 2009 年度第 1 回の連絡会議を開催、前年より早めのチラシ作成と告知開始をめざしている。目標も、3 倍の 120 人。</p>	回	日時	内容	第 1 回	6 月 13 日	ろうきんパートナーシップ制度 2008 年度の取り組みについて	第 2 回	7 月 18 日	チラシ作成進行確認等	第 3 回	10 月 17 日	広報進捗確認等	第 4 回	2 月 20 日	2008 年度成果確認と次年度への展開について
回	日時	内容														
第 1 回	6 月 13 日	ろうきんパートナーシップ制度 2008 年度の取り組みについて														
第 2 回	7 月 18 日	チラシ作成進行確認等														
第 3 回	10 月 17 日	広報進捗確認等														
第 4 回	2 月 20 日	2008 年度成果確認と次年度への展開について														
成果	<p>①パートナーシップ制度 2 年目の 2008 年度は、東北 6 県全体で 36 人のボランティア参加者が生まれた。前年が 11 人であるから、大幅な増加である。宮城県は、社の伝言板ゆるるとの共同で行ったが、7 人の参加になった。</p> <p>②東北 6 県全体で印刷し、配布したチラシの枚数は、75000 枚、宮城県内では、20000 枚のチラシを配布したことで、参加 8 団体の広報にも貢献した。</p>															
課題	東北ろうきんの CSR の取り組みとして東北 6 県の支援センターが協力している事業で、労金関係者に対する浸透度の向上が課題だが、3 年目を迎えてようやく盛夏が見えるようになってきている。一方、東北の支援センターのネットワーク形成には大きな貢献になっており、感謝している。															
備考	主催:東北労働金庫 本部・各県本部															

事業名	市民協働のまちづくり: 子どものための NPO との協働事業																																								
目的	本プロジェクトは、分野を超えて地域課題に主体的に取り組んできたNPOと子どもたちの拠点としての児童館の連携によって、子どもたちが地域課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域がともに気づき、学び合う環境を創出する。																																								
実施概要	<p>1. 実施概要</p> <p>(1) 仙台市立町マイスクール児童館 運営主体: NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘 テーマ: 職人さんを知ろう(児童館でのキャリア教育)</p> <table border="1" data-bbox="331 609 1364 952"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>開催日</th> <th>協力</th> <th>プログラム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月25日</td> <td>(特活)まなびのたねネットワーク、 (特活)ナチュラルサイエンス</td> <td>科学者を知ろう</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>12月6日</td> <td>(特活)まなびのたねネットワーク、 菅井光男さん</td> <td>カバン職人を知ろう</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1月31日</td> <td>(特活)まなびのたねネットワーク、 金ヶ崎伸二さん</td> <td>お茶の先生を知ろう</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 多賀城市鶴ヶ谷児童館 運営主体: 多賀城市 テーマ: みんなといっしょに、つくって食べる(児童館事業: 子どもランドと NPO の関わり)</p> <table border="1" data-bbox="331 1142 1364 1585"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>開催日</th> <th>協力</th> <th>プログラム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月18日</td> <td>ホゴノプロフィス</td> <td>焼きイモ会でジャグリング</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11月15日</td> <td>男の台所「賢和会」</td> <td>おにぎりワークショップと干し柿づくり</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>12月13日</td> <td>男子厨房に入ろう会</td> <td>ちょっとおしゃれなクリスマスケーキづくり</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>12月26日</td> <td>(特活)夢くりはら 21</td> <td>年末餅つき大会</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>2月6日</td> <td>(特活)せんだい・みやぎ NPO センター —</td> <td>まとめの会・柿のりづくり</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="619 1646 965 1908" data-label="Image"> </div>	回	開催日	協力	プログラム	1	10月25日	(特活)まなびのたねネットワーク、 (特活)ナチュラルサイエンス	科学者を知ろう	2	12月6日	(特活)まなびのたねネットワーク、 菅井光男さん	カバン職人を知ろう	3	1月31日	(特活)まなびのたねネットワーク、 金ヶ崎伸二さん	お茶の先生を知ろう	回	開催日	協力	プログラム	1	10月18日	ホゴノプロフィス	焼きイモ会でジャグリング	2	11月15日	男の台所「賢和会」	おにぎりワークショップと干し柿づくり	3	12月13日	男子厨房に入ろう会	ちょっとおしゃれなクリスマスケーキづくり	4	12月26日	(特活)夢くりはら 21	年末餅つき大会	5	2月6日	(特活)せんだい・みやぎ NPO センター —	まとめの会・柿のりづくり
回	開催日	協力	プログラム																																						
1	10月25日	(特活)まなびのたねネットワーク、 (特活)ナチュラルサイエンス	科学者を知ろう																																						
2	12月6日	(特活)まなびのたねネットワーク、 菅井光男さん	カバン職人を知ろう																																						
3	1月31日	(特活)まなびのたねネットワーク、 金ヶ崎伸二さん	お茶の先生を知ろう																																						
回	開催日	協力	プログラム																																						
1	10月18日	ホゴノプロフィス	焼きイモ会でジャグリング																																						
2	11月15日	男の台所「賢和会」	おにぎりワークショップと干し柿づくり																																						
3	12月13日	男子厨房に入ろう会	ちょっとおしゃれなクリスマスケーキづくり																																						
4	12月26日	(特活)夢くりはら 21	年末餅つき大会																																						
5	2月6日	(特活)せんだい・みやぎ NPO センター —	まとめの会・柿のりづくり																																						

(3) 仙台市東四郎丸児童館
 運営主体: (特活)FOR YOU にこにこの家
 テーマ: あめあめふれふれ

回	開催日	協力	プログラム
1	10月14日	(特活)ふれあいサポート館アトリエ	あめあめふれふれエコワールド



(4) 仙台市通町児童館
 運営主体: (特活)みやぎ・せんだい子どもの丘
 テーマ: 子どもとともに行う食育事業

回	開催日	協力	プログラム
1	11月8日	北山・新坂地区歴史と文化財ガイドボランティア	干し柿をつくる会



成果

仙台市立町マイスクール児童館(3回)、多賀城市鶴ヶ谷児童館(5回)、仙台市東四郎丸児童館(1回)、仙台市通町児童館(1回)のワークショップを通じて、約10のNPO、市民団体、企業などを結びつけ、協働による事業展開が図られた。

課題

2年目の実施であったが、年を重ねる度に対象児童館が増えて行き、どこまでやるのか、その線引きが難しくなりつつある。

備考

主催: 特定非営利活動法人日本 NPO センター
 共催: 財団法人児童健全育成財団
 協賛: 住友生命社会福祉事業団

事業名	「栗駒・花山の現状と私たち宮城の市民に何ができるかを考える集い」実行委員会
目的	震災の被災地救援活動が、緊急救援期から復興期に向かうところで、地域づくりや仕事起こし、観光の復興など、多様な取り組みが必要とされてくる。地域の支援センターとして、地元の意向を最大限尊重しながら、助け合いの精神で、県内の復興支援システムを構築する。
実施概要	<p>1. 概要 2008年6月14日に起きた岩手・宮城内陸地震は、宮城県北部、特に栗原市の花山地区と栗駒地区に大きな爪あとを残した。緊急救援の活動は、日常の活動に縛られている私たちに はなかなか難しいものがあり、スタッフがボランティアで関わり、センターとしては遠方の企業 や市民の申し出に応えコーディネートすることなど、限定された動きになった。 その後、仮設住宅が建設され、被災者が入居し、地域のボランティアや NPO の皆さんも関 わりが増えていくに従い、何らかの形で、地域や県内の人々が支援に関わるしくみが必要な のではないかと、という議論が生まれ、宮城県社会福祉協議会、地元栗原市社会福祉協議 会、そして被災者をまとめた2つの地元団体との協議を経て、2009年2月と3月に、「栗駒・ 花山の現状と私たち宮城の市民に何ができるかを考える集い」を開催し、実行委員会をつく って、取り組みを広げていくことにした。また、栗原復興市民ファンドをみんなファンド内に 設置、6月末時点で、249,771円の寄付金が集まっている。</p> <p>2. 栗駒・花山の現状と私たち宮城の市民に何ができるかを考える集い (1) 第1回「栗駒・花山の現状と私たち宮城の市民に何ができるかを考える集い」 日時:2009年2月15日(日) 13:00~17:00 会場:仙台市市民活動サポートセンター 6階 セミナーホール</p> <p>(2)「栗駒・花山の現状と私たち宮城の市民に何ができるかを考える集いⅡ」 ～阪神淡路大震災に学ぶ～復興に向けて神戸で取り組まれたこと [栗原会場] 日時:2009年3月13日(金)18:30~21:00 会場:栗原市市民活動支援センター [仙台会場] 日時:2009年3月14日(土)13:30~16:00 会場:パレス宮城野 萩の間 講師:(特活)コミュニティサポートセンター神戸理事長 中村順子さん</p> <p>3. その他 6月13日には、地元団体と連動して、栗原市内4ヶ所において、一周年の集いを開催する にあたり、ボランティアの動員、情報の整理と発信などに協力した。 今後も、継続的に関わり、長期にわたる被災地の復興に力を尽くしていく予定である。</p>
成果	一年目の取り組みとしては、栗原復興市民ファンドの設置(249,771円の寄付受け入れ)や3回の集いの開催、それに現地の被災者団体や社会福祉協議会と連携しての一周年の取り組みと続けて、少しずつ信頼関係と支援体制が生まれつつある。
課題	遠方なのでなかなか常時関わり続ける人材の確保が難しいこと。
備考	協力・連携団体:宮城県社会福祉協議会、栗原市社会福祉協議会、くりこま耕英震災復興の会、花山震災復興の会「がんばっぺ」他

事業名	東北ソーシャルビジネス推進協議会
目的	東北ソーシャルビジネス推進協議会(TSB)は、社会の課題を事業によって解決したい人々を支援する組織として、2009年3月に設立、SBに関する情報提供や、事業を行う方にハンズオン支援を行う。
実施概要	<p>1. 概要 当センターは、協議会設立のために、(株)デュナミス、いわて NPO センターと共にコンソーシアムを組んで、2008年度経済産業省の地域新事業創出発展基盤促進事業を受託、設立に向けて活動してきた。</p> <p>2. 東北ソーシャルビジネス推進協議会設立記念イベント (1)開催概要 タイトル:「夢のソーシャルビジネスプランコンテスト」 日時:平成21年3月3日(火) 14時~18時(開場13時30分) 場所:いわて県民情報交流センター(岩手県盛岡市) 804会議室 (2)当日プログラム 第1部 東北ソーシャルビジネス推進協議会設立のご報告 14:00~14:30 ・設立報告 東北ソーシャルビジネス推進協議会 事務局より ・会長挨拶 加藤哲夫(せんだい・みやぎ NPO センター代表理事) ・来賓挨拶 大塚洋一郎さん(経済産業省大臣官房審議官) 第2部 夢のソーシャルビジネスプランコンテスト 14:30~16:00 東北各地から集まったプレゼンターが、ソーシャルビジネスの新規事業プランを発表。各事業に対する質疑応答を行って、参加者全員が模擬投資家となって応援したい事業に模擬投資を行う。 発表者 ・辻悦子さん「つながる絆パーティー」駅前販売プロジェクトチーム(青森県) ・佐々木豊志さん(特活)くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所(宮城県) ・菅野正寿さん(特活)ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会(福島県) ・泉牧子さん JA 秋田やまもと(秋田県) 第3部 交流会・模擬投資・結果発表 16:00~18:00</p> <p>3. その他 設立イベント以外に、東北6県のソーシャルビジネス/コミュニティビジネス事業者及び支援者調査を行った。各県100件から200件の事業者の名簿を整理、一部は検証のためヒアリング調査、文献調査で補った。</p>
成果	2008年度の成果としては、3月3日に盛岡市において、東北ソーシャルビジネス推進協議会を設立し、2009年度の推進体制を構築、全国とのネットワークも整備された。東北各地の支援センター関係者の中で、ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスに関心のある組織と人が、設立にあたって議論を交わし日常的な情報交換体制ができたことは大きな成果である。
課題	2009年度事業は既に始まっており、7月17日には、東北ソーシャルビジネス推進協議会イベント「ソーシャルビジネス/コミュニティビジネスの支援モデルを探る」を開催した。今後は、地域づくりにつながるものとして、より広範囲な地域でのソーシャルビジネスの支援に工夫をこらしたい。
備考	(株)デュナミス、いわて NPO センター、青森 NPO 推進会議、長井まちづくり NPO センター、(株)プロジェクト地域活性、遠野山・里・暮らしネットワークなどと連携

事業名	組織改革(スタッフ研修)																																						
目的	スタッフに、日常業務としての市民活動支援をするという視点に加えて、相談対応力やファシリテーション力をあげる研修、現場体験を通じた学びの場を提供し、新たな市民活動支援のスキルアップをはかる。																																						
実施概要	<p>1. 内部研修 (1)パワーアップ研修 各施設の主任以上のスタッフを対象に、加藤代表理事を講師に大町事務所において内部研修を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="331 555 948 808"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/16</td> <td>相談対応について①</td> </tr> <tr> <td>6/12</td> <td>ファシリテーションについて①</td> </tr> <tr> <td>9/4</td> <td>相談対応について②</td> </tr> <tr> <td>11/14</td> <td>相談対応について③</td> </tr> <tr> <td>10/23</td> <td>意見(情報)を整理する</td> </tr> <tr> <td>12/12</td> <td>講座のプログラムづくり</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)その他 公益法人制度や起業講座などで外部講師を招いた際、スタッフ向けの研修も随時行った。</p> <p>2. 外部研修 (1)宮城県主催の支援センタースタッフ向け研修</p> <table border="1" data-bbox="331 981 1362 1265"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>タイトル</th> <th>人数</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/12</td> <td>支援力を高めるために</td> <td>2名</td> <td>みやぎ NPO プラザ</td> </tr> <tr> <td>10/31</td> <td>公益法人制度改革の基本を学ぶ</td> <td>3名</td> <td>みやぎ NPO プラザ</td> </tr> <tr> <td>1/13</td> <td>相談力を高めるために</td> <td>3名</td> <td>みやぎ NPO プラザ</td> </tr> <tr> <td>1/24</td> <td>地域リーダーのためのファシリテーション講座</td> <td>1名</td> <td>多賀城市市民活動サポートセンター</td> </tr> <tr> <td>6/25</td> <td>NPO 実態調査から見える、NPO の現状とこれからの NPO 支援</td> <td>1名</td> <td>みやぎ NPO プラザ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)現場スタッフのための「支援力！パワーアップ研修」 5月16日から18日にかけて、当センターとIIHOEの主催で支援センタースタッフ向けの研修が行われた。会場は仙台市市民活動サポートセンターで、当センターからは3名が受講した。</p> <p>(3)NPO 支援センター初任者研修 6月18日、19日の両日、(特活)日本 NPO センター主催の NPO 支援センター初任者研修があり、当センターからは入社2年目のスタッフ2名が参加した。</p> <p>3. NPO 現場研修 (特活)あかねグループ、(特活)仙台夜まわりグループ他2団体のご協力を得て、7月から10月にかけて月2回程度で合計6回、それぞれの団体にスタッフが1名ずつ行き、現場の活動を体験させていただいた。</p>	実施日	内容	5/16	相談対応について①	6/12	ファシリテーションについて①	9/4	相談対応について②	11/14	相談対応について③	10/23	意見(情報)を整理する	12/12	講座のプログラムづくり	実施日	タイトル	人数	場所	9/12	支援力を高めるために	2名	みやぎ NPO プラザ	10/31	公益法人制度改革の基本を学ぶ	3名	みやぎ NPO プラザ	1/13	相談力を高めるために	3名	みやぎ NPO プラザ	1/24	地域リーダーのためのファシリテーション講座	1名	多賀城市市民活動サポートセンター	6/25	NPO 実態調査から見える、NPO の現状とこれからの NPO 支援	1名	みやぎ NPO プラザ
実施日	内容																																						
5/16	相談対応について①																																						
6/12	ファシリテーションについて①																																						
9/4	相談対応について②																																						
11/14	相談対応について③																																						
10/23	意見(情報)を整理する																																						
12/12	講座のプログラムづくり																																						
実施日	タイトル	人数	場所																																				
9/12	支援力を高めるために	2名	みやぎ NPO プラザ																																				
10/31	公益法人制度改革の基本を学ぶ	3名	みやぎ NPO プラザ																																				
1/13	相談力を高めるために	3名	みやぎ NPO プラザ																																				
1/24	地域リーダーのためのファシリテーション講座	1名	多賀城市市民活動サポートセンター																																				
6/25	NPO 実態調査から見える、NPO の現状とこれからの NPO 支援	1名	みやぎ NPO プラザ																																				
成果	内部向けに代表理事によるパワーアップ研修を実施することで、主任クラスの実力と自信をつけることができた。また、外部講師を招いての講座でも、NPO 支援の現場で即役立つスキルを学ぶことができた。外部研修に関しては、研修に参加したスタッフによるレポート提出・報告が行われ、その成果をほかのスタッフに共有することができた。																																						
課題	内部向けのスタッフ研修をスタッフ地震の持つスキルを生かして実施するなどの取り組みも、今後検討したい。																																						

備考	
事業名	日本サードセクター経営者協会(JACEVO)

当センターでも、日本サードセクター経営者協会(JACEVO)の設立に向け、2008年度はその準備に当たってきた。しかし、具体的な活動については2009年度よりスタートとなるため、今回の事業報告ではみんな第63号(2009年5月1日発行号)に掲載した、加藤代表理事による「日本サードセクター経営者協会設立に向けて」を転載する。

日本サードセクター経営者協会設立に向けて

加藤哲夫

NPO法10年という枕詞も、そろそろ期限切れになりかかっている。この10年から15年、社会の大きな流れは、古い日本社会の構造の崩壊と、グローバリゼーション下での国際競争を勝ち抜くために、という名目での、峻烈なコストダウンや効率化、規制緩和によって引き起こされてきた。中でも、投機的な経済の破局による社会矛盾の激化は、政府も無視できなくなり、一定の対症療法的な対策が進められてはいる。そんな中、NPOに対する一定の期待があり、さまざまなNPOへの支援や基盤整備が語られてきた。しかし、いつまでも「力がないので助けてください」と言っている訳にはいかなくなっている。むしろ、「何を作り出しているのですか？」という真摯な問いかけこそが、NPOを成熟させるものだというところに、少なからぬ人々が気づきだしたところである。

さて、15年ほど前に、日本社会にNPOというコンセプトが必要であると考えた一群の人々の間では、政府・行政セクター(第一セクター)と企業セクター(第二セクター)と並んで、名実ともに必要な力量を持つ市民セクターあるいはNPOセクター(サードセクター)を構築し、3つのセクターがそれぞれ適切な役割を果たしながら、互いを牽制し、バランスの取れた多元的な社会運営を行うことこそが、大きな目標であったはずである。

現状はどうか？ 喧伝されるように、NPO法人の数だけは、35000団体を越えている。しかし、その内実は、年間事業額500万円未満が半数を占めるなど、まだまだ財政基盤の弱さが目立ち、社会に対する提言機能も充実しているとは言いがたい。また、情報開示の点からは、圧倒的多数の団体が、国や県が示す間違っただ記載例の書式どおりの報告書を作成、提出しており、NPO法の基本精神の柱である情報公開義務(アカウントビリティ)が果たされているとは言いがたい。もっと大きな課題は、そもそもサードセクター全体から見れば、NPO法人はその一部であり、社団法人、財団法人、社会福祉法人や学校法人、医療法人などと、協同組合やワーカーズコープなどの法人群全体のあり方が整理されなければ、日本のサードセクターは、ひ弱なNPO法人セクターだけの肩にかかってしまう。しかし、2008年12月1日より施行された改正公益法人法によって、ようやく110年の歴史的呪縛から解放されたばかりの公益法人群と、相変わらず行政の直接的支配下にあり、大部分の法人はサードセクターとしてのアイデンティティを持ちえていない社会福祉法人群、その他の法人

群に分断されたままの状態が続いているのであり、これでは、日本のサードセクターの確立は望めない。

当センターでは、一昨年来、この課題に取り組み、社会福祉法人大阪ボランティア協会(大阪)、特定非営利活動法人フォーラム21・NPOセンター(名古屋)とせんだい・みやぎNPOセンター(仙台)の3つの地方の支援組織が、1年間の研究会を開催し、かつ英国の支援組織への視察調査を行い、その結果をもとに、日本に、個人加盟の法人格に縛られない、横断的なNPOの経営者のネットワークを作り出そうという構想を練り上げ、60数名の呼びかけ人と共に、この3月には準備会を結成したところである。

モデルにした英国の団体は、ACEVO(英国のNPOのCEOの協会)である。この協会は、設立して20年になり、個人正会員(CEO会員)が約2000人、その所属組織の年間事業額が、英国のNPO全体の事業額の約2分の1という組織である。日本と違い、理事会と理事会に雇用されるCEO(現場の執行責任者・事務局長のようなもの)との間の緊張関係が、組織設立の動機だが、この10年、ブレア政権下でのNPO政策によって、英国のNPOは大きな躍進を遂げており、このACEVOが果たした役割も大きい。(委託契約金額の中に、間接費を認めさせることに成功したフルコストリカバリーの考え方を提唱・普及することに貢献した。) ACEVOは、①つなぐ、②伸ばす、③代表する、の3つのコンセプトで活動しており、NPOの現場の経営者の力量の向上とアドボカシー活動を中心に活動している。

私たちは、日本版ACEVO=JACEVO(日本サードセクター経営者協会)を、全国の志あるNPOの経営者(理事長や常務理事、事務局長など実質的な経営の執行責任者)に呼びかけ、日本のサードセクター全体のネットワーク(つなぐ)と力量形成(伸ばす)とアドボカシー(提言する)を展開していく全国組織を、この秋に立ち上げようとしている。当センター単独の資源と人材ではカバーしにくいマネジメント支援領域やネットワーキング、そして政策提言につながる活動を、自ら設立する全国組織との連携によって行う予定である。詳しい情報は、今後、Web等で展開していく予定であり、ぜひ注目いただきたい。

Ⅲ. 行政等による各種委員会、審議会への委員委嘱協力

2008 年度に委員委嘱協力を行った主なものは以下のとおりである。(順不同)

名称
宮城県民間非営利活動プラザ運営委員
平成 20 年度みやぎ NPO プラザ事務室等使用団体審査会選考委員会
仙台市社会教育委員会
仙台市廃棄物対策審議会
杜の都の市民環境教育・学習推進会議 (FEEL Sendai) 委員
仙台市青葉区区民と創るまち推進事業評価委員会
(社福)仙台市社会福祉協議会いきいきネット支援事業推進委員会委員
(社福)仙台市社会福祉協議会評議員会
仙台市共同募金会委員会配分調査委員
(財)仙台市文化事業団評議員会
多賀城市地域経営アドバイザー
名取市協働事業審査会委員
(独)福祉医療機構助成金(高齢者・障害者福祉基金、子育て支援基金及び障害者スポーツ支援基金)「地方分助成」推薦審査委員会
地球環境基金評価専門委員会専門委員
宮城大学地域連携センター 地域振興事業部運営委員会

IV. 講師派遣等

2008 年度に講師派遣を行ったものの一部を以下に掲載する。(順不同)

研修名	主催
NPO マネジメントセミナー	宮城県
市民協働・NPO 基礎講座	仙台市職員研修所
市民力パワーアップ講座	(特活)一新塾
NPO・ワーカーズの活動を継続発展させていくために	みやぎ生協生活文化部
NPO 協働講座	宮城県
実践型社会起業家論	香川大学大学院地域マネジメント研究科
NPO 支援組織スタッフ研修	千葉県
企業と NPO のための CSR 講座	あいずに NPO のネットワークをつくろう
協働のまちづくり職員研修	福山市
上越市まちづくり市民大学公開講座	上越市
第 2 回けせんぬま☆☆未来塾	(特活)ネットワークオレンジ
NPO と一緒にできる、企業の社会貢献のコツ	仙台市市民活動サポートセンター
すぐに役立つ！広報力レベルアップ講座	多賀城市市民活動サポートセンター
コミュニケーション講座	青葉区中央市民センター
NPO 寺子屋 2008 第 4 回	名取市市民活動支援センター
東北ろうきん研修会	東北ろうきん
NPO 賢和会「男の台所」定例研修会	NPO 賢和会「男の台所」
太白区中央市民センター市民企画講座	太白区中央市民センター
青葉区ボランティアフォーラム	青葉区ボランティアセンター
仙台市社会福祉協議会いきいきネット支援事業研修会	(社副)仙台市社会福祉協議会
仙台傾聴の会総会	仙台傾聴の会
ボランティアもくれん研修会	ボランティアもくれん
柴田町社会福祉協議会研修	(社副)柴田町社会福祉協議会
倫理法人会モーニングセミナー	多賀城市倫理法人会
住民協働	ふくしま自治研修センター
監督者研修 I	宮城県市町村職員研修所
コミュニティリーダー研修会	盛岡市
まちづくり講座	村山市・各地域まちづくり協議会
協働推進のための管理職特別研修	八王子市
倉敷市まちづくり人材養成講座	倉敷市
NPO が紡ぐ地域力 in Fuji	富士市民活動センター コミュニティ f

Ⅶ. センターの運営に関する事項

(1) 通常総会の開催

①第10回通常総会

日 時：2008年9月6日（土）13:30～15:30

会 場：仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール

出席者数：出席13名、委任状提出48名、合計61名

（正会員100につき、過半数が出席）

議 事： 第1号議案 2007年度の事業報告および決算の承認
第2号議案 2008年度の事業計画および予算の審議・決定
第3号議案 理事・監事の選任

記念セミナー

日 時：2008年9月6日（土）16:00～17:30

会 場：仙台市市民活動サポートセンター 6階セミナーホール

テ ー マ：「進んでいるか、遅れているかを超えて」

講師：播磨 靖男さん（財団法人たんぼぼの家理事長）

(2) 理事会の開催

2008年7月～2009年6月まで12回開催。

○第113回理事会

2008年7月22日（火）

○第114回理事会

2008年8月20日（水）

○第115回理事会（総会直前）

2008年9月6日（土）

○第116回理事会

2008年10月20日（月）

○第117回理事会

2008年11月20日（木）

○第118回理事会

2008年12月19日（金）

○第119回理事会

2009年1月20日（火）

○第120回理事会

2008年2月20日（金）

○第121回理事会

2009年3月19日（木）

○第122回理事会

2009年4月20日（金）

○第123回理事会

2009年5月20日（金）

○第124回理事会

2009年6月20日（水）

●理事合宿

2008年9月26日（土）・27日（日）

(3) 評議員会の開催

○第18回評議員会

2008年10月7日(火)

○第17回評議員会

2009年4月24日(金)

(4) 会員について

2008年7月期：会員数 181個人・団体

2009年6月期：会員数 171個人・団体

(5) 事務局について

①人員体制(2009年6月30日現在)

○せんだい・みやぎNPOセンター事務局勤務(仙台市青葉区大町)

せんだい・みやぎNPOセンター代表理事：加藤哲夫

せんだい・みやぎNPOセンター常務理事・事務局長：紅邑晶子

常勤職員：小川真美、遊佐さゆり

非常勤職員：田内亜紀子、谷口恵子、布田 剛

○仙台市市民活動サポートセンター勤務(仙台市青葉区一番町)

せんだい・みやぎNPOセンター常務理事・センター長：黒澤 学

せんだい・みやぎNPOセンター事務局次長・副センター長：伊藤浩子

副センター長：小松州子

常勤職員：伊藤 香、大石俊輔、太田 貴、大西千佳、菅野祥子、菊地竜生、高橋陽佑

非常勤職員：内川奈津子、遠藤由紀、能藤玲子、三井 克、橋本昭正、吉村民子

シアター業務委託スタッフ：高橋亜希、本儀 拓

○仙台市シニア活動支援センター勤務(仙台市青葉区一番町)

センター長：真壁さおり

副センター長：小林正夫

非常勤職員：葛西淳子

○多賀城市市民活動サポートセンター勤務(多賀城市中央二丁目)

センター長：工藤寛之

副センター長：中津涼子

常勤職員：荒川雅彦、近藤浩平、浪越 茂、桃生和成

非常勤職員：伊藤浩子、木村由美子、沼倉久子、二瓶徳子、本田ふみ、堀籠眞希

○名取市市民活動支援センター勤務(名取市大手町)

運営チーフ：太田 貴

運営スタッフ：大石俊輔、大西千佳、高橋陽佑 *月・水・木・金の4日間勤務

<インターン・ボランティアの受け入れ>

- 齊田春輝さん、菅原美香さん（宮城大学 事業構想学部 2年）
- 針生一平さん（東北学院大学 経済学部 2年）

②会議

<戦略会議の開催>

2008年7月～2009年6月：3回開催

参加者：常務理事、事務局長、事務局次長、
SC正副センター長、運営チーフ

内容：センターの経営戦略全体、資金、人事に関する事項、
大町・SC両業務の総括と連絡調整に関する事項など

<目標管理会議>

2008年7月～2009年6月：6回開催

参加者：常務理事、事務局長、事務局次長
SC正副センター長、運営チーフ、SC各班主任

内容：各施設の事業に関する進捗確認など

<センター会議の開催>

2008年7月～2009年6月：12回開催（月1回、最終水曜日）

参加者：センター職員全員

内 容：スタッフ研修、各勤務地別事業の進捗確認など

このほか各拠点ごとに以下のような会議を実施

- ・大町事務局全体ミーティング（月1回）
- ・仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング（月1回）
- ・仙台市シニア活動支援センターミーティング（月2回）
- ・多賀城市市民活動サポートセンター全体ミーティング（月1回）

VI. 2008年度収支報告

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
2008年度（2008年7月1日～2009年6月30日）

2008年度 収支計算書

収入の部

(単位：円)

科目	前年度決算	予算	決算
収入科目			
会費収入 ※1	1,565,000	1,600,000	1,405,000
事業収入	26,941,177	18,250,000	23,076,149
委託事業 ※2	(12,477,141)	(9,000,000)	(8,359,748)
参加費	(350,000)	(200,000)	(423,500)
書籍売上	(1,680,164)	(1,500,000)	(955,593)
相談・ヘアリング収入	(312,000)	(300,000)	(567,500)
講師派遣	(11,635,282)	(7,000,000)	(12,537,968)
販売手数料	(980)		(840)
原稿料	(485,610)	(250,000)	(231,000)
仙台市市民活動サポートセンター管理運営事業 ※3	58,460,275	64,911,000	58,629,489
指定管理料	(58,200,775)	(64,911,000)	(58,437,489)
参加費	(259,500)		(192,000)
仙台市シニア活動支援センター管理運営事業	12,032,547	12,715,000	12,838,000
委託料	(11,802,547)	(12,715,000)	(12,665,000)
参加費	(230,000)		(173,000)
多賀城市市民活動サポートセンター管理運営事業 ※4	7,312,500	26,250,000	28,774,200
委託料	(7,312,500)	(26,250,000)	(28,739,700)
参加費			(34,500)
名取市市民活動支援センター運営事業 ※5			1,015,000
委託料			(1,015,000)
寄付金収入	1,766,051	1,000,000	1,937,785
雑収入	2,898,375	500,000	1,473,507
特別事業：サポート資源提供システム	1,229,947	2,250,000	1,393,128
システム協賛金	(350,000)		(450,000)
資金仲介手数料	(833,333)		(827,777)
物品仲介手数料			(57,550)
中古パソコン手数料	(25,000)		(30,000)
システム運営への寄付金	(21,614)		(27,801)
当期収入小計	112,205,872	127,476,000	130,542,258
前期繰越収支差額		14,095,460	14,095,460
収入合計		141,571,460	144,637,718

預り金の部

(単位：円)

科目	前年度より繰越	入金	出金	次年度へ繰越
預り金				
サポート資源提供システム「地域貢献サポートファンドみんな」への寄付金				
ふくふくファンド	115,636	655,495	758,766	12,365
ろうきん地域貢献ファンド	164,155	1,618,581	1,548,700	234,036
みやぎNPO夢ファンド	10,944,241	4,493,946	6,481,106	8,957,081
日専連カード基金	299,739	244,417	299,739	244,417
栗原復興市民ファンド		249,771	0	249,771
みんなん本体ファンド	987,219	554,105	660,000	881,324
預り金 印刷機およびコピー機の使用料金回収、他	351,180	4,179,530	4,160,910	369,800
源泉預り金 社会保険、所得税、住民税、他	76,695	10,980,244	10,971,807	85,132
預り金合計	12,938,865	22,976,089	24,881,028	11,033,926

- ※ 1 会費収入
 (内訳) 正会員・個人 49口
 正会員・NPO 42口
 正会員・企業 2口
 準会員 79口
- ※ 2 委託事業
 仙台市環境局、名取市、東北労働金庫、(独)環境再生保全機構地球環境基金、(特)日本NPOセンター、人と地球と組織のための国際研究所、(特)ダイバーシティ研究所、(特)NPO事業サポートセンター、(株)デュナミス
- ※ 3 仙台市市民活動サポートセンター管理運営事業
 指定管理料のうち、水道光熱費は概算払い金で受託しており、残額は返金しています。
- ※ 4 多賀城市市民活動サポートセンター管理運営事業
 委託事業が始まったのは昨年4月でしたので、前年度決算は4～6月の3ヵ月分、今年度は1年分が計上されています。
- ※ 5 名取市市民活動支援センター運営業務
 前年度は相談員派遣業務でしたので、委託事業に計上されています。
 今年度は施設運営の一部を担う契約になりましたので、新たに科目立てしました。

2008年度 収支計算書

支出の部

(単位：円)

科目	前年度決算	予算	決算
仕入	618,625	500,000	316,037
人件費	6,870,680	8,150,000	8,440,147
給与	(6,529,280)		(7,955,347)
アルバイト料	(341,400)		(484,800)
旅費交通費	4,095,692	4,000,000	4,245,163
出張旅費交通費	(3,100,945)		(3,350,243)
職員交通費	(994,747)		(894,920)
福利厚生費	1,409,448	1,370,000	1,029,926
法定福利厚生費	(1,331,271)		(937,304)
福利厚生費	(78,177)		(92,622)
物件費	1,279,056	900,000	1,282,306
印刷製本費	(1,143,345)		(1,165,500)
資料収集費	(135,711)		(116,806)
外注費	992,750	400,000	663,060
外注費	(992,750)		(663,060)
事務費	1,966,413	1,760,000	2,183,464
消耗品費	(598,141)		(829,279)
通信運搬費	(1,008,272)		(994,185)
水道光熱管理費	(360,000)		(360,000)
賃貸費	2,430,130	2,630,000	2,840,756
地代家賃	(2,040,000)		(2,520,000)
印刷機リース	(390,130)		(320,756)
会議費	1,509,760	500,000	937,520
打合会議費	(636,390)		(549,615)
会場費	(873,370)		(387,905)
研修費	2,423,280	2,030,000	4,612,702
講師謝礼	(2,409,780)		(4,588,702)
スタッフ研修	(13,500)		(24,000)
支払会費	150,000	150,000	140,000
事業費・協力金	470,000	60,000	318,500
雑費	3,886,387	3,416,439	3,854,065
支払手数料	(40,023)		(48,445)
租税公課	(2,793,156)		(3,264,086)
雑費	(1,053,208)		(541,534)
仙台市市民活動サポートセンター管理運営	61,538,094	68,071,957	55,291,359
指定管理事業	(61,538,094)		(55,291,359)
仙台市シニア活動支援センター管理運営	11,943,670	14,080,250	11,836,252
委託事業	(11,943,670)		(11,836,252)
多賀城市市民活動サポートセンター管理運営	4,259,686	29,302,814	26,703,208
委託事業	(4,259,686)		(26,703,208)
名取市市民活動支援センター運営			566,216
委託事業			(566,216)
助成金事業	2,016,970		
日本財団	(2,016,970)		
特別事業：サポート資源提供システム	3,783,307	4,250,000	219,433
人件費	(3,060,000)		
管理費	(610,000)		
事業費	(31,870)		(25,470)
事務局費	(81,437)		(193,963)
支出合計	111,643,948	141,571,460	125,480,114
残高（収入-支出）			16,091,346
残高（預り金）			11,033,926
残高（収入+預り金-支出）			27,125,272

※印の科目には、スタッフ雇用にかかる人件費が含まれています。
(代表理事、常務理事、事務局スタッフ、仙台市市民活動サポートセンタースタッフ、仙台市シニア活動支援センタースタッフ、多賀城市市民活動サポートセンタースタッフ、名取市市民活動支援センタースタッフ)

人件費総額 80,736,525円
内訳
 給与総額 69,035,816円
 社会保険総額 7,963,699円
 通勤費総額 3,737,010円

(参考：2007年度スタッフ雇用に係る総額 65,516,673円)

2008年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

(2008年度：2008年7月1日～2009年6月30日)

2009年6月30日現在

特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	359,597		
大町事務局手許有高			
仙台市市民活動サポートセンター手許有高	50,000		
仙台市市民活動サポートセンター手許有高	68,830		
多賀城市市民活動サポートセンター手許有高	50,000		
多賀城市市民活動サポートセンター手許有高	71,325		
普通預金 東北労働金庫 本店	1,105,101		
普通預金 東北労働金庫 本店	2,486,406		
普通預金 仙台銀行 中央通支店	6,452,411		
普通預金 仙台銀行 中央通支店	318,745		
普通預金 仙台銀行 中央通支店	311,306		
普通預金 仙台銀行 中央通支店	7,242,750		
普通預金 仙台銀行 中央通支店	100		
普通預金 七十七銀行 新伝馬支店	166,901		
普通預金 社の都信用金庫	10,018		
郵便振替 仙台一番町郵便局	2,220,703		
郵便振替 仙台一番町郵便局	86,180		
普通預金 東北労働金庫 本店 (ろうきん地域貢献ファンド)	6,805		
普通預金 東北労働金庫 本店 (ろうきん地域貢献ファンド)	40,905		
普通預金 東北労働金庫 本店 (ろうきん地域貢献ファンド)	4,405		
普通預金 東北労働金庫 本店 (ろうきん地域貢献ファンド)	16,105		
普通預金 東北労働金庫 本店 (ろうきん地域貢献ファンド)	9,805		
普通預金 東北労働金庫 本店 (ろうきん地域貢献ファンド)	12,405		
普通預金 東北労働金庫 本店 (ろうきん地域貢献ファンド)	8,200		
普通預金 東北労働金庫 本店 (ろうきん地域貢献ファンド)	135,446		
普通預金 仙台銀行 本店 (みやぎNPO夢ファンド)	1,468,320		
普通預金 東北労働金庫 本店 (みやぎNPO夢ファンド)	7,039,869		
郵便振替 仙台一番町郵便局 (みやぎNPO夢ファンド)	448,892		
(現金預金計)	(30,191,530)		
棚卸資産	1,182,242		
流動資産合計		31,373,772	
資産合計			31,373,772
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金 (仙台市市民活動サポートセンターの概算払分)	2,184,402		
前受金 (仙台市市民活動サポートセンターの前金払分)	1,153,728		
前受金 (シニア活動支援センターの前金払分)	1,001,748		
前受金 (多賀城市市民活動サポートセンターの前金払分)	2,070,992		
前受金 (名取市市民活動支援センターの前金払分)	448,784		
未払金 (日専連法人カード未決済)	280,628		
未払消費税	2,459,000		
預り金 サポート資源提供システム事業	10,578,994		
預り金 印刷機およびコピー機の使用料金回収分	369,800		
源泉預り金 社会保険	85,132		
流動負債合計		20,633,208	
負債合計			20,633,208
正味財産			10,740,564

前受金

仙台市から仙台市市民活動サポートセンター管理運営事業の概算払分
市民活動サポートセンターの指定管理料のうち1回目概算払分から、4月～6月支出分を差し引いた残高
仙台市から仙台市市民活動サポートセンター管理運営事業の前金払分
市民活動サポートセンターの指定管理料のうち1回目前金払分から、4月～6月支出分を差し引いた残高
仙台市からシニア活動支援センター運営事業の前金払分
シニア活動支援センターの委託料のうち1回目前金払分から、4月～6月支出分を差し引いた残高
多賀城市から多賀城市市民活動サポートセンター管理運営事業の前金払分
市民活動サポートセンターの委託料のうち1回目前金払分から、4月～6月支出分を差し引いた残高
名取市から名取市市民活動支援センター運営事業の前金払分
市民活動支援センターの委託料のうち、4月～6月支出分を差し引いた残高

未払金

日専連法人カード使用の未決済分
未払消費税

預り金

サポート資源提供システムの預り金
仙台市市民活動サポートセンターにおける、印刷機およびコピー機の使用料金回収分
社会保険料の源泉預り金

2008年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

(2008年度：2008年7月1日～2009年6月30日)

2009年6月30日現在

特定非営利活動法人
 せんだい・みやぎNPOセンター
 (単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	599,752		
普通預金	18,093,738		
郵便振替	2,306,883		
普通預金	234,076		
普通預金	8,508,189		
郵便振替	448,892		
(現金預金計)	(30,191,530)		
棚卸資産	1,182,242		
流動資産合計		31,373,772	
資産合計			31,373,772
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	6,859,654		
未払金	2,739,628		
預り金	11,033,926		
流動負債合計		20,633,208	
負債合計			20,633,208
III 正味財産の部			
前期正味財産	5,978,867		
当期正味財産増加額	4,761,697		
正味財産合計		10,740,564	
負債および正味財産合計			31,373,772

※1 サポート資源提供システム 地域貢献サポートファンドみんな
 「東北ろうきんNPO寄付システム」普通預金

※2 ※3 サポート資源提供システム 地域貢献サポートファンドみんな
 「みやぎNPO夢ファンド」普通預金および郵便振替

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎ NPO センター

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 2-6-27 岡元ビル 4F

TEL 022-264-1281 FAX 022-264-1209

URL <http://www.minmin.org> E-mail minmin@minmin.org



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター